男女ハートフル共生プラン
～茂原市男女共同参画計画（第４次）～

令和６年度事業評価報告書

茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会
茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会

目次

◆ はじめに　・・・1

◆ １．茂原市男女共同参画計画（第４次）推進体制　・・・1

◆ ２．茂原市男女共同参画計画（第４次）の評価の方法　・・・３

◆ ３．事業評価スケジュール　・・・４

◆ ４．茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会からの提言・要望

・・・５

◆ 令和６年度事業一覧　・・・7

◆ 事業評価シートNo.１～４８　・・・10

はじめに

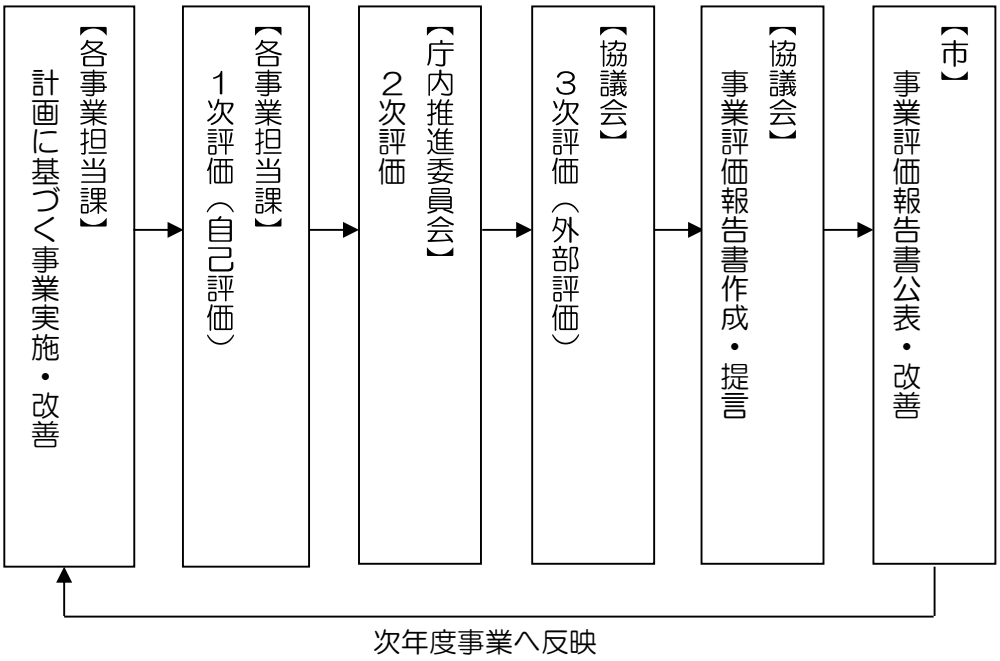
今日、少子高齢化が過去に例を見ないほどのスピードで進展し、また、市民生活を取り巻く社会経済環境は目まぐるしく変化しています。労働形態や家族形態も様変わりし、個々のライフスタイル・価値観も多様化しています。このような中、性別にとらわれずお互いを尊重し合い、一人ひとりが職場・家庭・地域等において責任と喜びを分かち合う「男女共同参画社会」の実現は、わが国における最重要課題の一つとされています。

茂原市では、令和３年３月に「男女ハートフル共生プラン～茂原市男女共同参画計画（第４次）～」を策定し、男女共同参画施策の推進に取り組んでおります。計画の進行管理については、毎年度、事業の進捗状況について、担当課による１次評価（自己評価）、庁内組織である「茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会（以下、「推進委員会」という）」による２次評価及び市民で構成される「茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会（以下、「協議会」という）」による３次評価（外部評価）を実施しています。外部評価を行うことにより、評価の透明性が確保され、市民目線も取り入れた男女共同参画施策がさらに効果的に推進されることが期待できます。

この「令和６年度　事業評価報告書」は、計画に掲げる施策を推進するため、プランに掲げた各事業の「実施結果及び次年度の取り組み」とともに推進委員会及び協議会が行った事業評価を一体的に掲載したものであり、各事業担当課において施策の見直しや方向性について協議・検討を行い、次年度以降の取り組みに反映できるようにすることを目指し提言するものです。

１．茂原市男女共同参画計画（第４次）推進体制

◆　茂原市男女共同参画計画　推進体制連携図



◆「茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会」（庁内組織）１６名

茂原市男女共同参画計画（第４次）に基づく施策の進行管理と男女共同参画に関する意識啓発を行う、市役所内各部から男女１名ずつ選出された委員で構成される委員会

＜茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会委員＞

氏　名	所　属	役　職
古山　芽衣	総合企画部	委員
河北　翔真		委員
志村　理紗子	財務部	委員
神定　俊一		委員
小関　芽衣	市民部	委員
林　佑樹		委員
永野　真穂	福祉部	委員
藍　龍生		委員
田中　和志	経済環境部	委員
富永　典子		委員
金坂　健汰	都市建設部	委員
髙橋　千祥		委員
齋藤　倫奈	教育部	委員
大多和　新士		委員
芝﨑　一郎	議会・農業・選管・監査	副委員長
高橋　朗子	会計　本納支所	委員長

【任期１年：令和７年４月１日～令和８年３月31日】

◆「茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会」（外部組織）１０名

茂原市における男女共同参画社会の実現を目指し、男女共同参画の総合的推進を図る組織として市民で構成された協議会

＜茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員＞

氏　名	役　職	区　分
大塚　節子	会長	学識経験者
上村　俊一	副会長	一般公募
高橋　弘樹	委員	関係諸団体の代表者
森川　礼子	委員	関係諸団体の代表者
及川　哲子	委員	一般公募
白土　和子	委員	一般公募
永沼　洋子	委員	一般公募
鈴木　智里	委員	一般公募
横堀　明子	委員	一般公募
寺田　三千代	委員	一般公募

【任期２年：令和７年４月１日～令和９年３月31日】

２．茂原市男女共同参画計画（第４次）の評価の方法

「茂原市男女共同参画計画（第４次）」では、男女共同参画を推進するため、市が取り組むべき事業として４８事業を掲げ、３４事業について指標（数値目標）を設けています。基本計画の進捗状況の評価にあたっては、事業担当課による１次評価（自己評価）、庁内組織の「男女共同参画社会づくり推進委員会」による２次評価を行い、続いて、外部組織である「茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会」が３次評価（外部評価）を行い、「令和 6 年度事業評価報告書」としてまとめました。

①評価の方法

評価者	判定区分
1 次評価（総合評価） 【各事業担当課】 茂原市男女共同参画計画（第４次）に掲げられた事業について、「事業評価シート」により 1 次評価（自己評価）を実施 ⇩ 2 次評価（総合評価） 【茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会】（市役所内組織） 全事業について、事業担当課から提出された「事業評価シート」により 2 次評価を実施 ⇩ 3次評価（総合評価・項目評価） 【茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会】（外部組織） 推進委員会の評価後、「事業評価シート」により3次評価を実施	【総合評価基準】 A：十分な成果を上げた （達成度８割以上） B：ある程度の成果を上げた （達成度４割～7 割） C：事業の見直しが必要 （達成度３割以下） 【項目評価基準】 4：十分達成している （90%以上） 3：概ね達成されている （70%以上） 2：達成が半ばであり改善を要する （50%以上） 1：不十分である （50%未満）
⇩ 事業評価報告書を作成し、市へ提出	

３．事業評価スケジュール

茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会

◆第１回（令和７年５月20日開催）
- 委員長及び副委員長の選出
- 男女共同参画についての説明
- 茂原市男女共同参画計画の進行管理（事業評価）

◆第２回（令和７年６月１８日開催）
- 令和６年度事業評価

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会

◆第１回（令和７年５月１３日開催）
- 茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会について
- 計画の進行管理及び評価の方法について

◆第２回（令和７年６月２７日開催）
- 令和６年度事業評価

４．茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会からの提言・要望

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会からの提言・要望

（１）事業評価結果と今後について

令和７年度は、第５次茂原市男女共同参画計画の策定も並行して行ったため、令和６年度の事業評価については１３事業のみとなりました。令和５年度において評価の低かった事業を重点評価事業として３次評価を実施しました。各担当課の皆さんの努力は認められましたが、多くは達成半ばであり改善が望まれます。

当協議会が外部評価を実施するようになって１３年になります。庁内組織の男女共同参画社会づくり推進委員会は任期１年ですから、この期間に多くの職員の方々に関わっていただきました。約５０の事業を展開する各課の担当職員の方々にもご協力いただきました。この間、男女共同参画について理解が進み、内容にも変化が多く見られるようになりました。男女共同参画・男女平等の考え方は各人各様違いますが、多くの職員の方々が関心を持ってくれたことは今後の事業展開の大きな力となります。

令和６年度事業評価については、その結果を公表するとともに、各事業担当課において施策の見直しや方向性について協議・検討を行い、次年度以降の各課の事業実施に反映するようにお願いします。

（２）茂原市におけるさらなる男女共同参画の推進について

令和６年７月から８月にかけて実施した「男女共同参画社会づくりに向けての意識調査アンケート」の結果（令和７年５月公表）によると、最も市に期待することは次の３点でした。①幼児教育や学校教育での男女平等教育の推進②職場における男女格差の是正や女性の労働条件の改善③育児・介護休業制度の普及促進。

「男女共同参画社会」を実現するには行政だけでなく、企業、各団体、そして市民が一体となり取り組むことが不可欠です。意識は徐々に浸透してきていますが、依然として政策・方針決定の場や社会・家庭環境等で男性優位の傾向が見られます。男女格差是正に関しての意見が多く見られるため、とかく男女共同参画は女性の為のものと思われがちですが、目指すべき社会は男性も女性も互いに理解し合い共に助け合って歩む社会です。女性だけが良くなってもこの社会はよくなりません。生きづらさを抱える男性も多くいます。女性も一歩踏み出し、自ら行動する意思を持ち、すべての人々と協力して生きていく姿勢が求められています。

先ずは、女性が働きやすい環境づくりが重要です。これが整うことにより、仕事、結婚、出産、育児、介護といった多くの課題の解決につながります。協力し合い、住みやすい茂原市を目指すことを望みます。

（３）「男女共同参画推進室」（仮称）の設置について

昨年度同様、再度、要望します。

市では、行政と「茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会」、「ハートフルフェスタ実行委員会」による意識啓発のための講演会の開催などにより男女共同参画社会づくりの推進に努めてきました。少しずつですが、変化を感じられるようになってきました。しかし、依然として多くの場で従来の考え方が根強く残っている状況です。

現在、家庭内暴力（DV）や児童虐待等が増加し、貧困はより進み社会問題となっています。

様々な相談が子育て支援課に集中することも懸念されます。これらの諸問題に対し男女共同参画の視点を持ち、関係する課が連携して対処できるよう、各課を繋ぐ役割をする「男女共同参画推進室」の設置をお願いします。
また、千葉県では、男女共同参画の趣旨を含んだ条例「千葉県多様性が尊重され誰もが活躍できる社会の形成の推進に関する条例」が施行されて１年が過ぎました。県の方針等も更に具体化していくと思われます。商業、農業、福祉、子育て、防災等、多様な分野に渡る課題について、対応・調整をする「男女共同参画推進室」の設置が必要です。事業所、教育現場、地域社会に向けた啓発活動の充実も図っていく必要があります。
茂原市をさらに魅力ある先進的な自治体にするために、是非ご検討くださるようお願いします。

令和6年度事業一覧

評価指標
A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）
B:ある程度の成果を上げた（達成度4割～7割）
C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

事業No.	事業名	担当課	基本目標	主要課題	施策の方向	1次評価	2次評価	3次評価
1	人権に関する教育および意識啓発の推進	生活課	Ⅰ　人権の尊重	Ⅰ－1　人権を守るための社会づくり	Ⅰ－1(1)人権尊重意識の啓発	A	A	B
2	職場におけるセクハラ・パワハラ等防止の促進	商工観光課	Ⅰ　人権の尊重	Ⅰ－1　人権を守るための社会づくり	Ⅰ－1(1)人権尊重意識の啓発	C	C	C
3	多様な性のあり方に関する意識啓発の推進	企画政策課	Ⅰ　人権の尊重	Ⅰ－2　人権を守るための社会づくり	Ⅰ－1(1)人権尊重意識の啓発	B	A	B
4	市民相談・人権相談に対する適切な対応	生活課	Ⅰ　人権の尊重	Ⅰ－1　人権を守るための社会づくり	Ⅰ－1(2)相談体制の拡充	A	A	
5	児童生徒の悩みに対する相談体制の充実	学校教育課	Ⅰ　人権の尊重	Ⅰ－1　人権を守るための社会づくり	Ⅰ－1(2)相談体制の拡充	A	A	
6	男女共同参画に関する講演会や講座等の開催	企画政策課	Ⅰ　人権の尊重	Ⅰ－2　男女共同参画の意識づくり	Ⅰ－2(1)男女共同参画の意識啓発の推進	A	A	
7	男女共同参画に関する意識啓発	企画政策課	Ⅰ　人権の尊重	Ⅰ－2　男女共同参画の意識づくり	Ⅰ－2(1)男女共同参画の意識啓発の推進	B	A	
8	男女共同参画に関する市職員研修の実施	職員課	Ⅰ　人権の尊重	Ⅰ－2　男女共同参画の意識づくり	Ⅰ－2(1)男女共同参画の意識啓発の推進	B	B	
9	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女共同参画に関する保育・教育の推進	子育て支援課	Ⅰ　人権の尊重	Ⅰ－3　男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進	Ⅰ－3(1)保育所・幼稚園・小中学校における男女共同参画に関する教育の推進	B	B	
9	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女共同参画に関する保育・教育の推進	学校教育課	Ⅰ　人権の尊重	Ⅰ－3　男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進	Ⅰ－3(1)保育所・幼稚園・小中学校における男女共同参画に関する教育の推進	B	B	
10	ＤＶ防止に関する意識啓発	子育て支援課	Ⅱ　あらゆる暴力の根絶	Ⅱ－1　暴力の防止と被害者支援の充実	Ⅱ－1(1)DV、虐待防止啓発の推進	B	A	B
11	ＤＶに関する相談窓口等の充実と周知徹底	子育て支援課	Ⅱ　あらゆる暴力の根絶	Ⅱ－1　暴力の防止と被害者支援の充実	Ⅱ－1(1)DV、虐待防止啓発の推進	B	B	
12	障害者（児）の虐待防止	障害福祉課	Ⅱ　あらゆる暴力の根絶	Ⅱ－1　暴力の防止と被害者支援の充実	Ⅱ－1(1)DV、虐待防止啓発の推進	A	A	
13	高齢者の虐待防止	高齢者支援課	Ⅱ　あらゆる暴力の根絶	Ⅱ－1　暴力の防止と被害者支援の充実	Ⅱ－1(1)DV、虐待防止啓発の推進	B	B	
14	関係機関との連携の強化	子育て支援課	Ⅱ　あらゆる暴力の根絶	Ⅱ－1　暴力の防止と被害者支援の充実	Ⅱ－1(2)被害者に対する支援、相談の充実	B	B	
15	男女共同参画によるまちづくりの推進と審議会等委員への女性参画の拡大	企画政策課	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ－1　政策・方針決定過程における男女共同参画	Ⅲ－1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	B	B	
16	市女性職員の登用の推進	職員課	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ－1　政策・方針決定過程における男女共同参画	Ⅲ－1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	B	B	B
17	市女性職員の活躍推進のための研修への参加機会の確保・拡大	職員課	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ－1　政策・方針決定過程における男女共同参画	Ⅲ－1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	A	A	
18	市民活動における男女共同参画の促進	生活課	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ－2　地域社会における男女共同参画	Ⅲ－2(1)地域における男女共同参画の促進	A	A	
19	父親の子育てに関する学習機会の提供	生涯学習課	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ－3　家庭における男女共同参画	Ⅲ－3(1)家庭生活における男女共同参画の促進	B	B	
20	男性の家庭参画を促す講座等の実施	東部台文化会館	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ－3　家庭における男女共同参画	Ⅲ－3(1)家庭生活における男女共同参画の促進	B	C	C
21	乳幼児相談・健診事業の充実	健康管理課	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ－3　家庭における男女共同参画	Ⅲ－3(1)家庭生活における男女共同参画の促進	A	A	

事業No.	事業名（具体的取り組み）	担当課	基本目標	主要課題	施策の方向	1次評価	2次評価	3次評価
22	子育て支援に関する情報提供	子育て支援課	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ－３　家庭における男女共同参画	Ⅲ－３⑵子育て支援の充実	B	B	
23	子育てに関する相談業務の充実	子育て支援課	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ－３　家庭における男女共同参画	Ⅲ－３⑵子育て支援の充実	A	A	
24	移動式赤ちゃん休憩室の貸出	生活課	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ－３　家庭における男女共同参画	Ⅲ－３⑵子育て支援の充実	B	B	
25	多様な働き方を支援するための保育サービスの拡充	子育て支援課	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ－３　家庭における男女共同参画	Ⅲ－３⑵子育て支援の充実	B	B	
26	放課後等の子どもの居場所づくり	子育て支援課	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ－３　家庭における男女共同参画	Ⅲ－３⑵子育て支援の充実	A	A	
27	高齢者の総合相談窓口の充実	高齢者支援課	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ－３　家庭における男女共同参画	Ⅲ－３⑶介護支援の充実	B	B	B
28	認知症高齢者と家族等への支援の充実	高齢者支援課	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ－３　家庭における男女共同参画	Ⅲ－３⑶介護支援の充実	B	B	
29	市民へのワーク・ライフ・バランスの推進	企画政策課	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ－４　労働の場における男女共同参画	Ⅲ－４⑴ワーク・ライフ・バランスの推進	A	A	
30	事業所へのワーク・ライフ・バランスの推進	商工観光課	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ－４　労働の場における男女共同参画	Ⅲ－４⑴ワーク・ライフ・バランスの推進	B	B	B
31	市職員へのワーク・ライフ・バランスの推進	職員課	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ－４　労働の場における男女共同参画	Ⅲ－４⑴ワーク・ライフ・バランスの推進	A	A	
32	男女雇用機会均等や育児・介護休業に係る法制度の周知とポジティブ・アクション（積極的改善措置）の促進	商工観光課	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ－４　労働の場における男女共同参画	Ⅲ－４⑵雇用機会の均等と職場環境の整備・改善	B	B	B
33	就労を希望する女性の再チャレンジ支援	商工観光課	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ－４　労働の場における男女共同参画	Ⅲ－４⑵雇用機会の均等と職場環境の整備・改善	A	A	B
34	農業における女性グループ活動の支援と女性起業家の育成	農政課	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ－４　労働の場における男女共同参画	Ⅲ－４⑷農業・自営業等における男女共同参画の促進	B	B	B
35	農業における家族経営協定締結の促進	農政課	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ－４　労働の場における男女共同参画	Ⅲ－４⑷農業・自営業等における男女共同参画の促進	A	A	
36	高齢者の自主活動への支援	高齢者支援課	Ⅳ　誰もが安心して暮らせる環境づくり	Ⅳ－１　安心して活動できる環境の整備	Ⅳ－１⑴高齢者・障害者施策の充実	B	A	
37	障害者（児）の地域生活支援の充実	障害福祉課	Ⅳ　誰もが安心して暮らせる環境づくり	Ⅳ－１　安心して活動できる環境の整備	Ⅳ－１⑴高齢者・障害者施策の充実	A	A	
38	障害者（児）の相談事業の充実及び社会復帰の促進	障害福祉課	Ⅳ　誰もが安心して暮らせる環境づくり	Ⅳ－１　安心して活動できる環境の整備	Ⅳ－１⑴高齢者・障害者施策の充実	A	A	
39	精神保健相談の実施及び社会復帰の支援	健康管理課	Ⅳ　誰もが安心して暮らせる環境づくり	Ⅳ－１　安心して活動できる環境の整備	Ⅳ－１⑴高齢者・障害者施策の充実	A	A	
40	男女共同参画の視点を取り入れた防災対策の充実	防災対策課	Ⅳ　誰もが安心して暮らせる環境づくり	Ⅳ－１　安心して活動できる環境の整備	Ⅳ－１⑵防災・防犯における男女共同参画の促進	B	B	
41	自主防災組織の育成	防災対策課	Ⅳ　誰もが安心して暮らせる環境づくり	Ⅳ－１　安心して活動できる環境の整備	Ⅳ－１⑵防災・防犯における男女共同参画の促進	B	C	B
42	地域防犯体制の充実	生活課	Ⅳ　誰もが安心して暮らせる環境づくり	Ⅳ－１　安心して活動できる環境の整備	Ⅳ－１⑵防災・防犯における男女共同参画の促進	A	B	B
43	自らの健康を自ら管理する意識づくりについての啓発	健康管理課	Ⅳ　誰もが安心して暮らせる環境づくり	Ⅳ－２　健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅳ－２⑴生涯を通じた健康支援	B	A	
44	人生の各段階に応じた健康相談と家庭訪問の実施	健康管理課	Ⅳ　誰もが安心して暮らせる環境づくり	Ⅳ－２　健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅳ－２⑴生涯を通じた健康支援	B	B	
45	市民参加の健康づくりの推進	健康管理課	Ⅳ　誰もが安心して暮らせる環境づくり	Ⅳ－２　健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅳ－２⑴生涯を通じた健康支援	A	B	
46	スポーツを通じての健康増進	体育課	Ⅳ　誰もが安心して暮らせる環境づくり	Ⅳ－２　健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅳ－２⑴生涯を通じた健康支援	B	B	

事業No.	事業名（具体的取り組み）	担当課	基本目標	主要課題	施策の方向	1次評価	2次評価	3次評価
47	安心して妊娠・出産するための支援	健康管理課	Ⅳ　誰もが安心して暮らせる環境づくり	Ⅳ－２　健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅳ－２⑵安心して妊娠・出産できる環境づくり	B	B	
48	妊娠期の健康管理・育児に関する学習機会の提供	健康管理課	Ⅳ　誰もが安心して暮らせる環境づくり	Ⅳ－２　健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅳ－２⑵安心して妊娠・出産できる環境づくり	A	A	

	1次評価	2次評価	3次評価
A 十分な成果を上げた （達成度8割以上）	20	23	0
B ある程度の成果を上げた （達成度4割～7割）	28	23	11
C 事業の見直しが必要 （達成度3割以下）	1	3	2

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	1	基本目標	Ⅰ　人権の尊重
事業名	人権に関する教育及び意識啓発の推進	主要課題	Ⅰ-1　人権を守るための社会づくり
課係名	生活課	施策の方向	(1)人権尊重意識の啓発
担当者職氏名	補佐　野城真弓	内線番号	7251

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

小中学校の人権教室・人権紙芝居を実施し、身近な問題として考える機会を提供するとともに人権尊重の意識を広めるため、引き続き啓発活動を行っていく。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

人権擁護委員による街頭啓発活動を行うとともに、小学校において人権教室を開催し、他人への思いやりやいたわりの大切さ等を伝えます。また、小・中学生には人権に関する作品づくりを通じ、豊かな人権感覚を身に付けてもらえるよう教育委員会に依頼するとともに、児童生徒の作品展示を通して、市民の人権尊重意識の啓発に努めます。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①市内小学校における人権教室の実施
②小中学校への人権ポスター原画・人権作文の依頼

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①小中学校における人権教室実施 10/31（木）冨士見中学校（1年生137名参加）、11/13（水）東郷小学校（1年生50名参加）、11/18（月）東中学校（1年生117名参加） ②人権ポスター（小学校10校：252点参加、中学校2校：17点参加）、人権作文（中学校2校：37点参加） その他の啓発活動として、小中学校1年生に人権冊子「種をまこう」等を配布し、人権尊重意識の醸成を図った。また、ポスターを公共施設内に掲示し、周知を図った。	3回	304名

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
0	0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 各事業が計画どおりに実施できた。
（課題・問題点） 冊子の配布以外に実施できる啓発方法を検討する必要がある。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

小中学校で人権教室等を実施し、身近な問題として考える機会を提供するとともに、人権尊重の意識を広めるため、引き続き啓発活動を行っていく。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）計画どおりに実施している。ポスター掲載や冊子の配布により、周知できている。

（課題・問題点）人権教室の実施校の拡大

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	2
(d)適切な数値目標が提示されているか	

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

・計画していた各事業は実施されている。

改善策等の提言

・現状に満足せず、「改善」欄にある通り、人権教室の実施校を増やすように努められたい。
・担当者の「課題・問題点」と同意見で、冊子の配布以外の啓発方法を関係者の皆さんと検討して欲しい。
タブレットを活用して日本だけでなく他国の情報や他の自治体の取り組みなども子どもたちに発信するなど検討して欲しい。
（参考意見）
小中学校での人権教室の様子や市が行っている人権啓発活動を、市の担当職員が紹介する動画をYouTubeや市のHPで発表している例があった。

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	2	基本目標	Ⅰ　人権の尊重
事業名	職場におけるセクハラ・パワハラ等防止の促進	主要課題	Ⅰ－1　人権を守るための社会づくり
課係名	商工観光課	施策の方向	（1）人権尊重意識の啓発
担当者職氏名	主事補　元吉　真優花	内線番号	7632

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

情報発信を行っていく。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

職場におけるセクハラ等防止について、茂原商工会議所等の関係機関に要請するとともに、千葉労働局雇用環境・均等室や千葉県男女共同参画センター等の相談窓口について、情報提供を行います。また、市内事業所に対し、セクハラ等防止のための講座・研修等への参加を促進します。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

セミナー等の開催　　年1回以上

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①関係機関と連携を図り、講習会等の機会を利用しセクハラ等防止に向けた意識啓発を図る。
②セクハラ等の防止に関する情報提供のため、市公式ウェブサイト等を積極的に活用するとともに、関係機関のパンフレットを配布し周知に努める。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
	0	0

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）
セミナー等の開催　　0回	0回	1回	0	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
0	0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☑ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）セミナー等の開催をしていない。

（課題・問題点）第4次計画に定められた具体的取り組み計画では情報提供や講座・研修等への参加を促進するとしており、セミナーの開催等を行うものとなっていないので、PDCAサイクルが展開できるものとなっていない。なお、ハローワークや商工会議所が行うセミナー等の周知はSNSを用いて行っている。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

情報発信を行っていく。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☑ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）計画した取り組みを実施していない。

（課題・問題点）計画を実施する。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	1
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	2
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	1
(d)適切な数値目標が提示されているか	1

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☑ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

・何等の成果もあげることができていない。

改善策等の提言

・職場におけるハラスメントの防止は、厚生労働省、県レベルでは千葉労働局が取り組んでいる重点事項。市としては何を行なえるのか、市だからこそできることは何かをよく考えることが必要ではないか。予算が割り当てられてない中で何ができるのかも、一度よく考える必要があるのではないか。職場での課題であるから、商工会議所との連携が重要であろうと考えられるので、どのように連携・協力するかを考えて欲しい。また、セミナー講師を、千葉労働局から派遣してもらうことを検討してはどうか。

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	3	基本目標	Ⅰ　人権の尊重
事業名	多様な性のあり方に関する意識啓発の推進	主要課題	Ⅰ－1　人権を守るための社会づくり
課係名	企画政策課	施策の方向	(1)人権尊重意識の啓発
担当者職氏名	主事　鈴木波	内線番号	7454

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

引き続き、啓発チラシの配布・設置、また講座等の開催により、市民への情報提供に努める。また、男女共同参画への市民意識調査を実施し、LGBTに関する理解度を調査した上で、効果的な啓発方法を検討する。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

LGBT等（性的少数者）に対する理解を深め、当事者に対する偏見や差別意識をなくし、すべての人が多様な個性を尊重し合い、豊かで安心して生活できるよう、LGBT等に対する正しい情報提供や理解促進のための啓発を行います。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

性の多様性に関する啓発　年1回以上

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

国や県からのパンフレットを窓口や行政資料室に設置

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
・国や県からのパンフレットを窓口や行政資料室に設置。庁舎内の目につく場所にポスター掲示を行った。	2回	
・男女共同参画週間に合わせて、県より展示パネルを借用し、茂原図書館にて展示会を行った際に、LGBTQについての書籍紹介や資料展示による啓発を行った。	1回	
・市民3,000人を対象に男女共同参画についてのアンケート調査を行う際に、LGBTQについての質問内容を加え、回答者に再度意識づけを行う契機を与えた。	1回	

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）
性の多様性に関する啓発　4回	3回	1回	1回	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
0	0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） パンフレットの設置や掲示、イベントに合わせた展示をし有効的な啓発ができた。市民アンケートの実施により数値的に分析できるようにし、LGBTQ等に対する正しい情報提供や理解促進のための指標を得ることが出来た。

（課題・問題点）

市民アンケートによりLGBTQについての認知度や理解度を知ることが出来たが、今後の具体的な啓発方法について検討できていないため検討する必要がある。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

市民アンケートの集計結果を分析し、効果的な啓発を行う。

茂原市男女共同参画計画（第5次）にLGBTQについて記載するかどうか慎重な協議を行う。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）効率的なアンケートの実施。啓発機会の増加。

（課題・問題点）アンケートの回答手段の簡素化

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3
(d)適切な数値目標が提示されているか	3

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

・啓発の機会が増えている。
・アンケートを実施することにより、市民に対する意識づけの機会となった。その分析により今後の施策展開への指標が得られたことも評価できる。
・図書館と連携した取り組みなどを地道に行っていることも評価できる。

改善策等の提言

・アンケートの集計結果の分析と、県の取り組みや他市町村の取り組みなども参考に推進されたし。
・小中高生にももっとLGBTQ等を知る機会を作って欲しい。
（参考意見）
誰もが自分らしく生きられる社会の実現に貢献することは、現代社会に求められる社会的な責任のひとつ。LGBTQに対して公平さを示すことは、単に特定の人を優遇するのではなく、誰もが働きやすい職場、生活しやすい「まちづくり」につながる。多様性についての意思表明をすることでLGBTQ当事者が市の方針を認識できて支援の輪を広げることができると考えられる。当事者でない人にとっても理解を深めるきっかけになると思う。

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	4	基本目標	Ⅰ　人権の尊重
事業名	市民相談・人権相談に対する適切な対応	主要課題	Ⅰ-1　人権を守るための社会づくり
課係名	生活課	施策の方向	(2)相談体制の拡充
担当者職氏名	補佐　野城真弓	内線番号	7251

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

市公式ウェブサイトや広報等により相談窓口の周知を行っているが、より効果的な周知・広報となるよう更なる見直しを行っていく。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

市民から寄せられる相談は、年々増加するとともにその内容も複雑多様化していることから、人権相談をはじめとする各種相談について、関係各課及び国・県とも連携を図りながら、より迅速かつ適切に相談内容の解決に向けた取り組みの強化に努めます。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①人権相談所の開設（市役所12回、ほのおか館12回）
②広報への掲載（相談日案内12回、特設人権週間1回、人権擁護委員の委嘱3回）
③研修等の実施（茂原人権擁護委員協議会の定時総会（5月）、全委員研修会（11月））
④市民相談

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①人権相談所の開設（市役所12回、ほのおか館12回） ②広報への掲載（相談日案内12回、特設人権週間1回、人権擁護委員の委嘱3回） ③研修等の実施（茂原人権擁護委員協議会主催の定時総会5/16（木）全委員研修会11/28（木）） ④市民相談（毎日） ⑤人権ポスターの掲示及びチラシの配布	24回	2件（法務局で実施している相談等は非公開）

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
1,133	1,132	1,131

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 各相談機関等との連携により適切に繋ぐことができた。また、ポスターの掲示やチラシを配布することにより相談窓口の周知に努めた。
（課題・問題点） 今後も相談事業の広報等充実させるとともに、各相談機関等と連携し、日常生活における様々な問題や悩みごと等の解決を図っていく。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

市公式ウェブサイトや広報等により相談窓口の周知を行っているが、より効果的な周知・広報となるよう努める。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）各機関と連携し、計画どおりに実施している。

（課題・問題点）より効果的な周知・広報活動の実施。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	5	基本目標	Ⅰ　人権の尊重
事業名	児童・生徒の悩みに対する相談体制の充実	主要課題	Ⅰ－1　人権を守るための社会づくり
課係名	学校教育課	施策の方向	（2）相談体制の拡充
担当者職氏名	主幹　梶原　大	内線番号	7929

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

児童生徒及び保護者からのニーズは高く、今後も心のよりどころとなるよう、在校日を増やすことに取り組む。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

スクールカウンセラー（県事業）や心の教室相談員の配置により、学校内における児童・生徒の悩みに対する相談体制について、男女共同参画の視点に配慮しながら整備充実を図ります。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

・スクールカウンセラー配置校　　現計画中に12校
・心の教室相談員配置校　　現計画中に4校

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

・スクールカウンセラー（県事業）在校日の拡充

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無）

内容	回数	参加者数（男女別）
①児童生徒からの相談に対して傾聴し、一人ひとりの心に寄り添いながら、個に応じた対応を心がけた。 ②相談体制の充実のために、在校日を児童生徒及び保護者に知らせ、相談活動の充実を図った。 ③全小中学校に配置されたスクールカウンセラーの在校日が増え、相談体制が充実した。 【補足】スクールカウンセラー在校日 各小学校　月1～2回（R5に月1回であった学校3校のうち、2校が月2回に変更） 各中学校　週1回		

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）
・スクールカウンセラー配置校　　18校	・19校	・19校	・18校	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
0	0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）
これまでスクールカウンセラーが未配置の小学校では、中学校区で連携しサポート体制をとっていたが、市内全校に配置となったことで、児童生徒や保護者へカウンセリング等の相談体制が充実した。また、事案に対する学校内の連携や、支援チーム体制の構築・支援に携わることで支援体制の充実につながった。
（課題・問題点）
児童生徒の精神的なケアの観点から、在校日を増やすことが必要である。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

児童生徒及び保護者からのニーズは高く、今後も心のよりどころとなるよう、在校日を増やすことに取り組む。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）市内全校へのスクールカウンセラーの配置と在校日増加による相談体制の充実化。

（課題・問題点）在校日を増やすことにより、児童生徒及び保護者のニーズに柔軟に対応する。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	6	基本目標	Ⅰ　人権の尊重
事業名	男女共同参画に関する市民向け講演会や講座等の開催	主要課題	Ⅰ－2　男女共同参画の意識づくり
課係名	企画政策課	施策の方向	(1)男女共同参画の意識啓発の推進
担当者職氏名	主事　鈴木波	内線番号	7454

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

引き続き、ハートフルフェスタ実行委員会と協働して、幅広い市民の方が興味を持てるテーマを検討する。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

男女共同参画に関する講演会や講座等を開催するとともに、県や関係機関との連携を図り、市民に対する意識啓発をします。講演会や講座の開催にあたっては、開催日時やテーマ・託児などに配慮し、幅広い年代の、より多くの方に参加してもらえるよう努めます。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

・講演会・講座等の開催回数　年2回以上
・参加者数　年150人以上

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

ハートフルフェスタ実行委員会と協働し、市民が興味を持ちやすいテーマで男女共同参画に関する講演会等を開催する。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
・講演会の実施 独立行政法人国立女性教育会館理事長を講師としてお呼びし、茂原市ハートフルフェスタ講演会「一人ひとりが主役のまちづくり～ジェンダーと多様性の視点から考える～」を開催した。身近にある男女平等について考える機会を作ることが出来た。	1回	33名（男性6名 女性27名）
・勉強会の実施 コスモスサロン特別講座「介護保険制度のはなし」を開催した。出前講座を活用し、介護現場の女性負担が未だ大きい現状や、保険制度の基礎について勉強ができる機会を作ることが出来た。	1回	12名（男性1名 女性11名）
・DVD上映会 一般市民対象に集客し、関連DVDを市民室で上映した。	1回	32名（男性5名 女性27名）

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）
・講演会・講座・勉強会の開催回数　3回 ・参加者数　77名	・1回 ・4人	・2回 ・75人	2回 160名	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
50	50	50

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） より多くの方に啓発が出来るよう、イベントを年3回開催した。
（課題・問題点） 講演会の内容は充実していたが、開催日が他のイベントと重複してしまい参加者数が例年よりも少なかった。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

引き続きハートフルフェスタ実行委員会と協働して、より多くの方に参加していただけるようなイベントを開催していく。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）より多くの方に啓発が出来るよう、計画を上回り年3回開催。

（課題・問題点）引き続き、より多くの方に参加していただけるようなイベントの開催。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	7	基本目標	Ⅰ　人権の尊重
事業名	男女共同参画に関する意識啓発	主要課題	Ⅰ－2　男女共同参画の意識づくり
課係名	企画政策課	施策の方向	(1)男女共同参画の意識啓発の推進
担当者職氏名	主事　鈴木波	内線番号	7454

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

引き続き、広報もばら、市公式ウェブサイト、自治会回覧等を活用して情報発信を行うとともに、イベント開催時等の機会がある度にアンケートを行い、市民への周知度、理解度について調査をする。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

男女共同参画に関する意識啓発のための、情報紙やパンフレット、男女共同参画の視点からの表現ガイドラインをあらゆる機会に配布するとともに、広報もばら・市公式ウェブサイト等を活用して情報発信に努めます。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

意識啓発パンフレット等の配布　年2回 6,000部以上

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

・国や県からのパンフレットを窓口や行政資料室に設置
・広報もばら・市公式ウェブサイト等を活用して情報発信

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
・国や県からのパンフレットを窓口や行政資料室に設置。庁舎内の目につく場所にポスター掲示を行った。	5回以上	
・男女共同参画週間に合わせて、県より展示パネルを借用し、茂原図書館にて展示会を行った際に、男女共同参画についての書籍紹介や資料展示による啓発を行った。	1回	
・広報もばら・市公式ウェブサイト・自治回覧にて男女共同参画に関する講演会等の情報発信を行った。	1回	

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）
意識啓発パンフレット等の配布　5回以上　6,000部	5回9000部以上	5回9000部以上	5回6000部以上	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
0	0	0

CHECK（評価）

【1次評価】　担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）
パンフレットを窓口に置くなど積極的な啓発を行い、数値目標を達成することができた。

（課題・問題点）
情報が市民の目によくふれるような工夫が必要。パンフレット等の配布以外の意識啓発を考える必要がある。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

イベントの来場者に記入してもらうアンケートの結果や意識調査の結果等を活用し、市民にニーズのある啓発イベントを開催する。講演会チラシの内容やデザインや周知方法等を工夫する。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）パンフレットを窓口に置く等、積極的な啓発活動により、数値目標を達成している。

（課題・問題点）より効果的な周知、広報などに努める。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	8	基本目標	Ⅰ　人権の尊重
事業名	男女共同参画に関する市職員研修の実施	主要課題	Ⅰ－2　男女共同参画の意識づくり
課係名	職員課	施策の方向	(1)男女共同参画の意識啓発の推進
担当者職氏名	係長　坂本信太郎	内線番号	7431

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

管理職以外の職員に対してハラスメント研修を実施する。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

階層別職員研修のテーマに取り入れて男女共同参画の意識の啓発と理解の充実を図ります。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

市職員対象の男女共同参画に関する研修の実施　年1回以上

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

若い世代から男女共同参画について理解を深めてもらうために、新規採用職員研修において男女共同参画について研修を行う。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
・令和6年4月11日（木）、新規採用職員研修において、男女共同参画をテーマに研修を実施。 参加者19名 講師：企画政策課職員 内容：男女共同参画について	1	19名（男：10名、女9名）

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）
市職員対象の男女共同参画に関する研修の実施	1回	1回	1	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
100	0	100

CHECK（評価）

【1次評価】　担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A：十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B：ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C：事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）若い世代に対して研修を行うことが出来たが、対象範囲が限定的になってしまった。
（課題・問題点）若い世代から男女共同の意識を持ってもらうことは重要と考える。多くの職員が研修に参加するには業務との調整が必要となる。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

引き続き若い世代に男女共同参画の意識を持ってもらうため研修を行う。また、研修で使用した資料等を参加できなかった職員に対して提供を行う。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）対象範囲は限定的だが、若い世代に男女共同に対する意識づけをした。

（課題・問題点）対象範囲を限定せず、幅広い世代の職員に対して、研修を実施するべき。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	9（子）	基本目標	Ⅰ　人権の尊重
事業名	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女共同参画に関する保育・教育の推進	主要課題	Ⅰ-3　男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進
課係名	保育課	施策の方向	(1)保育所・幼稚園・小中学校における男女共同参画に関する教育の推進
担当者職氏名	係長　熊谷　拓哉	内線番号	7883

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

①引き続き、日常の保育や行事において、保育士が男女平等の意識に立った保育に努める。
②引き続き、保育環境を整え一時預かり事業を継続していく。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

（保育所・幼稚園）
乳幼児の保育や乳児教育において、男女共同参画の視点に配慮した保育及び教育を実施し、男女共同参画の意識を高めます。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

（保育所・幼稚園）
乳幼児の保育や乳児教育において、男女共同参画の視点に配慮した保育及び教育を実施し、男女共同参画の意識を高めます。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①保育所では保育所保育指針（厚労省告示）に基づき保育を実施しており、指針中の「子どもの性差や個人差にも留意しつつ、性別などによる固定的な意識を植え付けることがないようにすること。」を遵守して保育を実施した。 ②鶴枝保育所（一般型）及び朝日の森保育所（余裕活用型）において、専属の職員を配置し、一時預かり保育を実施した。		

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
0	0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

- ☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）
- ☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）
- ☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）　）　①について、男女平等の視点に配慮した保育を行っているが、定量的又は定性的に達成度を
測り評価することは困難である。
②について、特に鶴枝保育所は一時預かり専用の保育室を設けPRをしたことで利用者の増加につなげ、保護者のニーズに一定程度応えられたものと考える。
（課題・問題点）

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

①引き続き、日常の保育や行事において、保育士が男女平等の意識に立った保育に努める。
②引き続き、保育環境を整え一時預かり事業を継続していく。（鶴枝保育所ではR7から一時預かり専用電話開設）

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）一時預かり保育の実施により、保護者のニーズに応えている。

（課題・問題点）保育環境を整えたうえで一時預かりを継続する。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	9（学）	基本目標	Ⅰ　人権の尊重
事業名	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女共同参画に関する保育・教育の推進	主要課題	Ⅰ－3　男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進
課係名	学校教育課	施策の方向	（1）保育所・幼稚園・小中学校における男女共同参画に関する教育の推進
担当者職氏名	主幹　梶原　大	内線番号	7929

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

①幼稚園、各小中学校において、男女平等等を含む人権教育について、全教育活動を通して指導していく。
②固定的な性別役割分担意識にとらわれない学校行事等の活動。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

（保育所・幼稚園）乳幼児の保育や幼児教育において、男女共同参画の視点に配慮した保育及び教育を実施し、男女共同参画の意識を高めます。
（小中学校）学校教育全体を通じて、自立の意識を育む教育、一人ひとりの個性や能力を尊重し、児童生徒が主体的に学び、考え、行動する姿勢を育む教育を推進します。また、人権の尊重、男女の平等、相互理解・協力についての指導の充実を図るとともに、教科書等の教材においても適切な配慮がなされるよう留意します。中学校においては、固定的な性別役割分担意識にとらわれずに、主体的に進路を選択できるような進路指導に努めます。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

・幼児期において、人との関わりの中で道徳性を養えるような教育を実施する。
・小中学校において、各教科や特別活動等の学習を通して、男女平等を含む人権教育について意識を高める教育を実施する。
・思春期健康教室等により児童生徒に命の大切さを学ばせる。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無）

内容	回数	参加者数（男女別）
①幼児期において、人との関わりの中で道徳性を養えるような教育を実施した。 ②社会科や道徳科を中心に全教育活動を通して、人権的な視点から学習を進めた。特に学校行事や特別活動において男女の区別無く役割を決め活動を行った。 ③思春期健康教室を行った。（18校中14校実施）		

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
0	0	0

CHECK（評価）

【1次評価】　担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）
各幼稚園・各小中学校において、幼稚園教育要領や学習指導要領に基づいた指導計画を作成し、学習の中で男女平等等の意識を高めることができた。男女混合名簿の採用、各行事の役割分担など男女平等の意識の元に、教育活動が運営されている。
（課題・問題点）
男女共同参画の視点のみで、授業展開することや数値で評価することは難しい。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

①幼稚園、各小中学校において、男女平等等を含む人権教育について、全教育活動を通して指導していく。
②固定的な性別役割分担意識にとらわれない学校行事等の活動。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）各指導要領に基づいて作成した指導計画により、男女平等等を含む人権教育がなされている。

（課題・問題点）男女共同参画の視点のみで評価することは難しいが、引き続き男女平等等を含む人権教育について意識を高める教育を実施する。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	10	基本目標	Ⅱ　あらゆる暴力の根絶
事業名	DV防止に関する意識啓発	主要課題	Ⅱ-1　暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	子育て支援課	施策の方向	(1)DV、虐待防止啓発の推進
担当者職氏名	主事　斉藤直也	内線番号	7872

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

引き続き様々な機会を通じ、DV防止に関する啓発に努める。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

DVが人権侵害であるという観点から、配偶者・パートナーに対する暴力を許さない社会づくりをテーマとした講演会等への参加を促進します。また、若年層向けにデートDVに関する正しい理解を促進するための啓発に努めます。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

配偶者・パートナーに対する暴力をなくす運動の周知　　年１回以上

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①被害者に対し、県が主催している「DV被害者のための自立支援講座」への参加を促進する。
②毎年11月の「女性に対する暴力をなくす運動」にあわせ、街頭啓発を実施する。
③若年層向けにデートDVに関する正しい理解を促進するため、様々な機会を通じ、啓発活動に取り組む。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①11月の「女性に対する暴力をなくす運動」月間について広報もばらに掲載し、周　　知を行った。 ②市庁舎、本納支所等の市内公共施設にDV防止に関するポスターを掲示した。 ③11月の「女性に対する暴力をなくす運動」推進月間にチラシを各自治会に回覧した。 ④もばら産業まつりにおいてチラシ配布・啓発運動を行った。	①1回 ②通年 ③1回 ④1回	

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）
配偶者・パートナーに対する暴力をなくす運動の周知　2回	1回	2回	2回	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
0	0	

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）
・広報誌や公共施設へのポスターの掲示、地域イベントでの啓発運動、自治会へのチラシの回覧等、周知・啓発に努めた。
（課題・問題点）
・若年層への啓発の取り組み

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

引き続き様々な機会を通じ、DV防止に関する啓発に努める。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）対象を限定せず、幅広い世代に周知できる啓発活動を行っている。

（課題・問題点）引き続き、様々な機会を通じ、DV防止に関する啓発に努める。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3
(d)適切な数値目標が提示されているか	2

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

・計画はほぼ実施されている。
・若年層への取り組みが行われていない。

改善策等の提言

・計画に「講演会等への参加を促進」とあるので、ぜひ進めて欲しい。
・中高生にデートDV等について情報発信するため学校へ出向き出前講座を実施するなど検討されたし。
（参考意見）
若年層も大切だが、もっと幅広い世代に周知を願う。特に最近は高齢者に対するDVも多くなっている。実際、暴力をしてしまう人、受けている人にDV防止の声がどれだけ届いているのか？該当者のみでなく、周りへの啓もうも大切なのではないかと思う。しかし、実際に周囲の者がどの様にしたらよいのか分からない場合がある。

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	11	基本目標	Ⅱ　あらゆる暴力の根絶
事業名	DVに関する相談窓口等の充実と周知徹底	主要課題	Ⅱ-1　暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	子育て支援課	施策の方向	(1)DV、虐待防止啓発の推進
担当者職氏名	主事　斉藤直也	内線番号	7872

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

①DV相談窓口に関する広報もばらへの掲載
②公共施設のトイレにDVステッカーを設置
③DVカードの配布

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

国・県等の関係機関、庁内の関係各課との連携により、被害者の保護や情報収集に努めます。また、家庭児童相談員を配置し、相談窓口の充実を図るとともに、広報もばらや市公式ウェブサイト、パンフレット、ポスター、啓発物資の配布等により積極的な周知を行います。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

・相談窓口の周知・啓発回数　　年1回以上
・DVに関する研修参加　　年2回以上

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①市内におけるDV支援の連携・強化を図るため、関係課による会議を開催する。
②広報もばら、市公式ウェブサイトへの掲載やポスターの掲示、パンフレット、啓発物資の配布等により周知を図る。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①DV相談窓口に関する広報もばらへの掲載（毎月） ②公共施設のトイレにDV相談ステッカーを配置 ③DV相談カードの配布（子育て支援課、本納支所、保健センター窓口にて配布）④DV防止に関する記事を市公式ウェブサイト・市公式LINE・SNSに掲載　⑤11月の「女性に対する暴力をなくす運動推進月間にチラシを各自治会に回覧 ⑥もばら産業まつりにおいてチラシ配布・啓発運動 ⑦市役所1階にブースを設置しチラシ・ポスター等を展示 ⑧DV被害者支援に関する庁内連携会議を開催	⑤1回 ⑥1回 ⑧1回	⑥8名（男3人・女5人） ⑧17名（男10人・女7人）

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）
・相談窓口の周知・啓発回数　12回 ・DVに関する研修参加　　20回	・12回 ・18回	・12回 ・20回	・12回 ・20回	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
0	0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）
・概ね計画通り実行できた。
（課題・問題点）
・担当職員の更なる能力の向上と専門の相談職員の配置について検討する。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

①DV相談窓口に関する広報もばらへの掲載
②公共施設のトイレにDVステッカーを設置
③DVカードの配布
④もばら産業まつりでのチラシ配布・啓発運動

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）計画通り実行しており、数値目標を達成している。

（課題・問題点）担当職員の更なる能力の向上と専門職員の配置。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	12	基本目標	Ⅱ　あらゆる暴力の根絶
事業名	障害者（児）の虐待防止	主要課題	Ⅱ-1　暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	障害福祉課	施策の方向	（1）DV、虐待防止啓発の推進
担当者職氏名	係長　松﨑　澄宏	内線番号	6214

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

実際にサービス提供を行う各種事業所にも虐待防止パンフレットを配布し、さらなる啓発活動に努める。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

障害の有無や性別にとらわれず、人としての尊厳を保ち、安心して暮らしていけるよう、虐待に対する相談支援を行います。また、障害者虐待の相談窓口及び通報業務について、市公式ウェブサイト等を利用し、周知します。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

・担当職員の資質向上のため、障害者虐待防止研修会等に積極的に参加する。
・障害者虐待の相談窓口等について、市公式ウェブサイト等を活用し、周知活動を行う。
・障害者虐待通報があった場合は、中核地域生活支援センター等の関係機関と連携し、適切に対応する。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
・県等が主催する障害者虐待防止研修に参加し、虐待に関する相談・指導・援助についての対応技能を取得した。 ・障害者虐待について、公式ウェブサイトや市の窓口でパンフレットを設置する等、周知活動を行った。また、関係機関と協同でグループホーム従事者向けに虐待防止の講演会を実施した。 ・虐待通報については、事実確認を実施し、必要に応じて保健所・関係各課・中核地域生活支援センター等の関係機関と連携し、障害のある人や家族への支援を行った。	・研修：2回 ・講演会：1回 ・配布先：35事業所 通報件数36件	男：1人、女：1人 講演会　参加者：52人 男：15人、女：21人

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
0	0	997

CHECK（評価）

【1次評価】　担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）　引き続き、職員のスキルアップのための障害者虐待研修へ参加したことで、虐待に関する相談・指導・援助についての対応技法を取得し、適切に障害者虐待事案に対応することができた。

（課題・問題点）　引き続き、職員のスキルアップをはかり、虐待通報に対して適切な対応を行う必要がある。また、各事業所に周知を図ることが必要である。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

引き続きも障害者虐待防止研修等へ参加するよう努める。また、障害者虐待通報に関しては、関係各課及び関係機関と連携し適切に対応する。また、虐待防止センターの一部を委託する。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	□ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	□ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）研修会への参加等により職員のスキルアップを図れている。講演会や周知活動により、具体的な通報件数につながっている。

（課題・問題点）引き続き職員のスキルアップを図り、虐待通報に対して適切に対応すること。また、さらに周知を図ること。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

□ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	□ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	□ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	13	基本目標	Ⅱ　あらゆる暴力の根絶
事業名	高齢者の虐待防止	主要課題	Ⅱ-1　暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	高齢者支援課	施策の方向	(1)DV、虐待防止啓発の推進
担当者職氏名	副主査　岩坂　理奈	内線番号	6243

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

事業加入者を増やし、高齢者が安心して暮らせる街づくりを進めていく。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

高齢者の威厳の保持のため、高齢者虐待に係る相談、指導・助言、通報・届出の受理、高齢者の安全確認や事実確認等を行い、高齢者虐待の防止についてパンフレットを用いて周知します。また、高齢者見守りネットワークを用いて、高齢者虐待の早期発見・予防に努めます。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

高齢者見守りネットワーク新規協力事業所　　年1事業所以上

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

見守りネットワーク加入事業所を1事業所以上増やす。
見守りネットワーク加入事業者に対し、年に1回は事例やマニュアル等を送り意識付けを行う。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
令和6年4月1日から新たに市内スーパーマーケット（4店舗）が見守りネットワークに加入した。 見守りネットワーク加入事業者に事例やマニュアル等を送ることはできなかった。		

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）
高齢者見守りネットワーク新規協力事業所	1事業所	53事業所	0事業所	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
0	0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

- ☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）
- ☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）
- ☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）
加入事業者が4か所増えたことは良かったが、事例やマニュアルとを送付することができなかった。
（課題・問題点）
加入事業者は一度加入してしまうと、担当者変更などがあると加入していることも忘れてしまいがちなので、事例やマニュアルを送付し、意識してもらうことが必要。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

加入事業所に1年に1回は事例やマニュアルを送付する。
加入事業所を1事業所以上増やす。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）加入事業者は増えたが、マニュアル等を送ることができなかったから。

（課題・問題点）加入事業者を増やす方法の検討が必要。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	14	基本目標	Ⅱ　あらゆる暴力の根絶
事業名	関係機関との連携の強化	主要課題	Ⅱ-1　暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	子育て支援課	施策の方向	(2)被害者に対する支援、相談の充実
担当者職氏名	保健師　清水裕子	内線番号	7875

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

①DV等に関する庁内連携会議を開催する。
②予防的な取り組みとして、思春期教室で暴力は重大な人権侵害であることを周知していく。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

地域配偶者暴力相談支援センター（長生健康福祉センター）、女性サポートセンター、警察、中核地域生活支援センターなどの関係機関との連携を強化し、シェルターへの避難など緊急的対応の充実を図ります。また、外国人や高齢者、障害者等のDV被害者の対応について、庁内連携体制の強化を図るとともに、情報の共有や漏洩防止に努めます。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

DV等に関する庁内連携会議開催　　年１回以上

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①DV被害者支援に関する庁内連携会議を開催し、庁内連携の強化、情報共有、情報漏洩防止を図る。
②予防的な取り組みとして、思春期教室でデートDVについて啓発する。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①DV被害者支援に関する庁内連携会議を開催し、庁内各課が行っている支援内容や課題について共有し、協議した。困難な問題を抱える女性への支援移管する法律が令和6年4月に施行されたことに伴い、相談先や県の計画等について周知した。 ②思春期教室でデートDVについて触れ、パートナーと対等な関係性を築くことの重要性や被害の防止について啓発した。	①1回 ②1回	①23名（男性12名・女性11名） ②125名（男性66名・女性59名）

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）
DV被害者支援に関する庁内連携会議の開催回数	1回	1回	1回	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
0	0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）
計画どおり庁内連携会議を開催し、予防的な取り組みも実施できたため。
（課題・問題点）
思春期教室での啓発については、内容について学校の意向もあり、一部の中学校しか実施できていない。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

引き続き、庁内連携会議を開催しDV被害者支援の充実を図る。併せて思春期教室でDV被害の予防について啓発に務める。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）回数は達成したが、1回のみの開催でもっと周知が必要なのではないか。

（課題・問題点）学校の理解を得ることが必要。もっと周知するべき。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	15	基本目標	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画
事業名	男女共同参画によるまちづくりの推進と審議会等委員への女性参画の拡大	主要課題	Ⅲ-1　政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	企画政策課	施策の方向	(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進
担当者職氏名	主事　鈴木波	内線番号	7454

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

引き続き調査およびヒヤリングを行い、その結果を男女共同参画社会づくり推進協議会等と共有し、解決策を検討する。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

市民協働によるまちづくり推進を担う各団体において、意思決定過程における男女共同参画を促進するとともに、審議会等委員の選定にあたっては公募枠の拡大、代表者に限定しない適任者の推薦などを依頼し、女性の登用を促進します。特に、女性委員のいない団体や審議会等をなくすことを目指し、女性の参画拡大を図ります。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

審議会等における女性委員の登用率　30%以上

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

・審議会等における女性の登用率について調査する。
・審議会等における女性の参加促進について各担当課に依頼を行った。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無）

内容	回数	参加者数（男女別）
・審議会等における女性の登用率について調査した。 ・審議会等における女性の参加促進、登用率目標について各担当課に説明および依頼した。	1回 1回	

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）
審議会等における女性委員の登用率　24.8%	23.00%	24.40%	24.00%	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
0	0	0

CHECK（評価）

【1次評価】　担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）　調査や啓発を行い0.8%（去年比）女性登用率を上げることが出来た。

（課題・問題点）　審議会委員およびそれを所管する部署は、専門職で女性の人材不足という理由で女性の登用率が大幅には伸びていない。目標の審議会等における女性委員の登用率30%以上に届いていない。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

各課への女性の参加促進に関する啓発内容を工夫する。登用率が低い組織にはヒヤリングを行い、解決策を検討する。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）女性委員の登用率等の目標には届いていないが増えたため。

（課題・問題点）登用率の低いところに直接はたらきかけていく必要がある。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	16	基本目標	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画
事業名	市女性職員の登用の推進	主要課題	Ⅲ-1　政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	職員課	施策の方向	(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進
担当者職氏名	係長　坂本信太郎	内線番号	7431

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

今後も女性の登用に積極的に取組んでいく。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

男女を問わず採用・登用し、性別にとらわれない人事配置を行います。また、女性職員がその能力特性を十分発揮し、政策・方針決定過程への参画を通して管理職へ積極的に登用されるよう、人材育成の方策について検討します。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

管理職に占める女性の割合　30%以上

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

適材適所の人員配置を行うとともに、男女分け隔てなく係長相当職への昇格を行い、女性の管理職登用についても積極的に推進する。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
令和6年度管理職への登用状況（R6.4.1現在） 管理職に占める女性の割合　15.31% 9級（部長職）　0人/9人 8級（次長級）　1人/10人 7級（課長級）　7人/36人 6級（補佐級）　9人/56人	15.31%	17人/111人

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）
管理職に占める女性の割合	18.10%	17.39%	15.31%	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
0	0	0

CHECK（評価）

【1次評価】　担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

- ☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）
- ☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）
- ☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）目標に対して達成度は5割程度であり、目標値には達していないが、登用された女性職員は政策・方針決定などに参画し、実力を発揮している。
（課題・問題点）女性の管理職への登用にあたっては、本人の意欲や責任感の醸成が必要であるとともに、様々な業務を幅広く理解した上で管理職へと任用される必要がある。目標達成のために、経験が不足している女性職員を管理職にしてしまっては、その職員への負担が大きくしてしまうことに繋がってしまう。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

年齢構成に配慮しながら女性の登用に取組んでいく。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）目標に対して達成度は5割くらいだから。

（課題・問題点）経験が足りないのであれば、研修等を増やして意識を高めてもらいたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	2
(d)適切な数値目標が提示されているか	3

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

・成果が全く上がってない。目的達成のためにどのような努力をしたのかが見えてこない。
・課長級補佐級への女性登用が増えていることは評価できる。
・「改善」欄の「年齢構成に配慮しながら」の部分の意味が不明。

改善策等の提言

・男女を問わない人材育成は必要である。だが、男性だから、年齢が上だからという理由で、経験が不足している男性を管理職にということはないだろうか。優秀な女性職員は少なからずいると思う。育成の機会を男性と同じように与えていけば、意欲や責任感は育つと思う。長期的視点に立って対応を図っていただきたい。当然、家庭環境と両立できる職場環境を整備することは急務である。
（参考意見）
女性の管理職への登用は本人の意欲も必要だが、経験が足りない部分は管理職のサポートが本人の意欲以上に必要だと思う。とかく研修参加を促すが、研修に費やした時間が通常業務の遅れにつながることもある。経験不足・労働時間不足から職員の離職に繋がることのないよう、配慮ある取り組みをも望む。

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	17	基本目標	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画
事業名	市女性職員の活躍推進のための研修への参加機会の確保・拡大	主要課題	Ⅲ-1　政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	職員課	施策の方向	(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進
担当者職氏名	係長　坂本信太郎	内線番号	7431

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

研修の形態を幅広く活用し、引き続き研修への積極的な参加を行わせる。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

女性職員の人材育成の観点から、関係機関での研修を活用するなど、市女性職員の活躍推進のための研修等への参加機会の確保・拡充を図ります。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

市女性職員の活躍推進のための研修への参加人数　年5人以上

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

実地研修とオンライン研修を組み合わせて、職員の研修参加に対して柔軟に対応し、研修への積極的な参加を促す。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
令和6年度は4名の女性職員が女性活躍推進にかかる研修に参加した。 ・千葉県自治研修センター「女性活躍推進研修」（実地研修・2日間）：1名（もう1名申込んだが、体調不良により欠席） ・（株）インソース「女性リーダー研修（女性キャリアアップ研修）」（オンライン研修・1日間）：3名	年4人	4人（男：0人　女：4人）

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）
市女性職員の活躍推進のための研修への参加人数	5人	6人	7	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
57	87	94

CHECK（評価）

【1次評価】　担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）自治研修センターへ係長級の職員1名を派遣し、若手職員にはオンライン研修を活用し、女性リーダーへの育成に努めた。
（課題・問題点）職員の意識に研修への参加に消極的な部分がある。研修への参加人数を多くする為には、参加の義務付けが効果があると考えるが、女性職員だけに負担を強いることになってしまうことが懸念される。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

若い世代から女性活躍への意識をもってもらうために、若手女性職員に対して研修参加を促していく。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	□ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	□ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）目標を達成しているから。

（課題・問題点）各課１人ずつでもできるよう、庁内で研修を行うのはいかがか。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	
(d)適切な数値目標が提示されているか	

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

□ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	□ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	□ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	18	基本目標	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画
事業名	市民活動における男女共同参画の促進	主要課題	Ⅲ-2　地域社会における男女共同参画
課係名	生活課	施策の方向	（1）地域における男女共同参画の促進
担当者職氏名	副主査　大本　淳司	内線番号	7252

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

講演会や市民活動団体交流会等の開催を通じて、引き続き地域におけるまちづくりへの理解を深め、性別を問わず、より多くの市民が参加できるよう、意識の醸成を図るとともに、意思決定過程における男女共同参画の促進に努める。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

男女が共に市民活動に参画することの意義について理解を深めることができるよう、自治会長連合会や社会福祉協議会、市民活動団体等の関係団体と連携し、あらゆる機会を通じて意識啓発を図ります。また、市内のボランティア・NPO活動に関する広報・普及活動を行い、市民活動に対する理解の向上、参加促進等を図るとともに、地域の活力向上に資するよう、市民活動に関する情報の共有に努めます。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

認定市民活動団体のうち、「男女共同参画」分野に取り組む団体数　年5団体以上

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

・講演会等を実施する際、男女が共に自治会活動や地域でのボランティア活動に参加できるよう、地域活動における男女共同参画についての周知を図る。
・市民活動団体の支援の際、男女共同参画の取り組みを促す。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
・茂原市自治会長連合会主催で、12月に「自治会活性化セミナー」を開催した。	1回	43名（男性35名、女性8名）
・12月に「地域まちづくり協議会設立支援講座」を開催した。	1回	16名（男性14名、女性2名）
・市民活動団体の構成員同士の交流の機会を設け、活動の更なる充実を図るための交流会を開催した。	7回	70名（男性38名、女性32名）

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）
認定市民活動団体のうち、「男女共同参画」分野に取り組む団体数　7団体	6団体	7団体	7団体	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
2,480	2,442	2,409

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）講演会や講座の開催により、地域におけるまちづくりへの理解を深め、性別を問わず、より多くの市民が参加できるよう、意識の醸成に努めた。

（課題・問題点）以前に比べて、地域におけるまちづくりに男女が共に参加する機運は高まっているが、依然として主導的立場の女性が少なく、意思決定過程における男女共同参画が進んでいないのが実情である。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

講演会や講座の開催により、引き続き、地域におけるまちづくりへの理解を深め、性別を問わず、より多くの市民が参加できるよう、意識の醸成に努めるとともに、意思決定過程における男女共同参画の促進に努める。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）目標は達成された。

（課題・問題点）セミナー等における女性参加率が低い。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	19	基本目標	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画
事業名	父親に子育てに関する学習機会の提供	主要課題	Ⅲ-3　家庭における男女共同参画
課係名	生涯学習課	施策の方向	(1)家庭生活における男女共同参画の促進
担当者職氏名	係長　鈴木　秀哉	内線番号	7932

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

家庭教育学級で提供する情報等について、アンケート等を工夫し、父親目線で求められるニーズの把握に努める。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

家庭教育学級などにおいて、父親の子育ての意識を高める内容を取り入れるなど、父親の積極的な子育ての参加を促進するための学習機会を提供し、子育てを共にする意識の啓発を図ります。また、父親が参加しやすいよう、講座・講習会・研修視察等を土日にも開催し、男女共同参画の高揚を図ります。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

・家庭教育学級の開催回数　　年60回
・家庭教育学級の父親参加者　　年350人以上

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①幼稚園・小学校家庭教育学級の開催
②就学時子育て講座の実施
③幼児期（3歳児）家庭教育学級の開催

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①幼稚園・小学校家庭教育学級 ②就学時子育て講座 ③幼児期（3歳児）家庭教育学級	①5回 ②12回 ③39回	①50人（男9人、女41人） ②461人（男34人、女427人） ③889人（男203人、女686人）

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）
・家庭教育学級の開催回数　56回 ・家庭教育学級の父親参加者　246人	・31回 ・57人	・46回 ・119人	・55回 ・218人	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
467	245	428

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）
父親参加者数は目標に達しなかったが、増加傾向であるため。

（課題・問題点）
父親が参加しやすい日程、内容を工夫する必要がある。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

土日を含めて開催日を見直すとともに、父親目線で求められるニーズの把握に努める。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）目標は達成していないが、父親の参加者数は増加傾向にあるため。

（課題・問題点）引き続き進めてください。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	20	基本目標	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画
事業名	男性の家庭参画を促す講座等の実施	主要課題	Ⅲ-3　家庭における男女共同参画
課係名	東部台文化会館	施策の方向	(1)家庭生活における男女共同参画の推進
担当者職氏名	副主査　矢部俊彦	内線番号	23-8711

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

教室の内容などを考慮し、家庭生活に生かせる教養の向上や健康の増進につながる教室について検討する。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

男女が対等な家族の構成員として互いに尊重し協力し合えるよう、男性も参加しやすい料理教室やその他生活に根ざした実践的な講座等を開催し、男性の家庭参画を促進します。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

・男性の家庭参画を促す講座の開催　　年5回以上
・男性の家庭参画を促す講座の参加者　　年90人以上

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

・東部台文化会館において活動している自主クラブの公開講座を開催する。
・市民の文化活動を援助し、教養の向上を図るための自主クラブ公開講座を実施し、様々な分野の基礎技術等を習得することにより、日常生活をより豊かに、より健康的に過ごせるようにする。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
自主クラブ名　活動内容　公開講座日時 ・「葉芽会」　ヨガ　3月3日　10時～12時 ・「手編みサークル」　手編み　3月3日　13時～15時 ・「ハーモニカ・鈴（ベル）の会」　ハーモニカ　3月6日　13時30分～16時 ・「東部台千草琴クラブ」　大正琴　3月10日　14時～15時30分 ・「コスモスユカレリーズ」　楽器演奏（ウクレレ等）　3月14日10時～12時30分	各1回 計5回	計15名 （男5名、女10名） （受け入れ人数は、活動施設の定員により制限あり。）

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）
・男性の家庭参画を促す講座の開催　5回 ・男性の家庭参画を促す講座の参加者　15人	・0回 ・0人	・8回 ・71人	・6回 ・45人	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
0	0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）　当館にて活動している自主クラブ24団体（活動施設が体育センターの団体を除く）に公開講座の募集をかけ、8団体より応募があり、その内、広報にて参加希望者のあった5団体の公開講座を開催した。公開講座をきっかけに会員として入会することにより、自主クラブの会員減少を防止し、安定的に充実した活動の継続を図り、また、参加者の日常生活をより豊かに、より健康的に過ごせるよう寄与することができた。
（課題・問題点）　家庭生活における教養の向上や健康の増進につながるより充実した内容の講座を開催し、男女共同参画の意識啓発を広める。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

講座の内容などを考慮し、家庭生活に生かせる教養の向上や健康の増進につながる講座について検討する。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☑ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）参加人数が少なすぎる。

（課題・問題点）男性が参加しやすい内容にする必要がある。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	2
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	2
(d)適切な数値目標が提示されているか	1

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☑ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

・男性の参加者が少なすぎる。
・事業名「男性の家庭参画を促す講等の実施」、この事業の趣旨とは違うと考える。

改善策等の提言

・男性の家庭参画を促すことが目標。明確に男性をターゲットにした方が良いと思う。
・自主グループの活動に参加する機会を設けること自体は良いと思うが、それが男性の家庭参画につながるかといえば？だ。長年女性が主に担ってきた家事（例えば料理や掃除や洗濯のコツ）育児（例えば保育園の行事ではない平時の見学）や介護（施設の見学や実際の体験など）などを行ってはどうだろうか。

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	21	基本目標	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画
事業名	乳幼児相談・健診事業の充実	主要課題	Ⅲ-3　家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	(1)家庭生活における男女共同参画の促進
担当者職氏名	永野　真穂	内線番号	7871

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

集団健診においては、引き続き感染症対策を行いながら、未受診者には電話や訪問等で受診勧奨し、受診率向上に努める。育児不安等の解消のための啓発内容を検討する。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

乳幼児期の親子が健全に成長発達でき、楽しく育児ができるよう、健康相談、健康診査を通じて男女が共に家庭における役割を担えるよう啓発します。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

・6か月乳児相談受診率　95%
・1歳6か月児健康診査受診率　98%
・3歳児健康診査受診率　97%

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

・未受診者に対して、電話・家庭訪問等で再勧奨し、受診率の向上を目指す。
・育児についての不安や悩みを丁寧に聞くことにより、育児不安の軽減を図り、必要時関係機関の相談先に繋げる。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
【精密検査連絡票発行者数】1歳6か月児健康診査：3件、3歳児健康診査：53件 ・発達の遅れなど心配のある児については、健診時の保育相談などに繋げ、児の特性に合わせた関わりができるよう支援した。 ・育児不安や養育状況に心配のある家庭については、電話や訪問での状況確認の他、関係機関の相談事業に繋げ不安の軽減に努めた。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で対象者数が限られた状況であったが、3歳児健診についても例年通り生まれ月で案内できるようになったため、R6年5月の健診から全ての集団健診を例年通りの案内に戻すことができた	各健診 12回/年間 （月1回）	6か月乳児相談： 男191人、女151人 1歳6か月児健診： 男216人、女183人 3歳児健診： 男211人、女215人

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）
①6か月乳児相談受診率　92.7%（個別対応含む場合100%） ②1歳6か月児健康診査受診率　96.8% ③3歳児健康診査受診率　98.2%	①87.8% ②96.4% ③97.4%	①86.5% ②98.1% ③95.4%	①91.2% ②98.7% ③97.1%	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
5,376	5,309	5,625

CHECK（評価）

【1次評価】　担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）
受診を延期する場合には連絡を入れるという保護者の意識が定着してきている印象がある。未受診者に対して、受診勧奨の通知や電話かけ、必要によっては訪問等で家庭の状況を把握できたことから、受診率の向上につながったと考える。
（課題・問題点）
家庭によっては健診を受診するために保護者が仕事の調整をする必要があるが、経済困窮家庭や児の体調不良で休暇を消化している場合、その調整が難しく未受診につながりやすい傾向にある。また、精密検査の未受診者についても、継続した受診勧奨が必要である。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

・未受診者に対する電話や家庭訪問等による再勧奨を継続し、受診率の向上を目指す。
・育児についての不安や悩みを丁寧に聞くことにより、育児不安の軽減を図り、必要時関係機関の相談先に繋げる。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	□ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	□ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）目標は達成した。

（課題・問題点）男女共同参画と受診率の関係が不明なため、目標の見直しが必要。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	
(d)適切な数値目標が提示されているか	

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

□ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	□ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	□ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	22	基本目標	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画
事業名	子育て支援に関する情報提供	主要課題	Ⅲ-3　家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	(2)子育て支援の充実
担当者職氏名	主査　梶　貴代	内線番号	7877

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

①「もばらで子育てガイドブック2024」の発行・配布
②SNS等も活用した情報提供についても検討していく。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

男女が協力して子育てできるよう子育てガイドブックの配布、ブックスタートの充実、市公式ウェブサイトの活用による子育て支援に関する情報提供に努めます。また、育児や養育に関する不安や、仕事と子育ての両立における問題を解消できるよう、赤ちゃん訪問や家庭児童相談員による家庭訪問等で対応していきます。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

「もばらで子育てガイドブック」の配布数　　年2,500部以上

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①もばらで子育てガイドブックの配布と作成を行う。
②茂原市ウェブサイトや市公式SNS等を活用し、情報提供に努める。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
・「もばらで子育てガイドブック2024」を発行し、子育て支援課や関係部署等の窓口配布、また市公式ウェブサイトとスマートフォンアプリ「マチイロ」で配信を行った。 ・「もばらで子育てガイドブック2025」発行に向けて掲載内容の見直しを行った。また、関連するウェブサイトにアクセスできるよう二次元コードを追加した。	・配布枚数 2,900部	

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）
「もばらで子育てガイドブック」の配布数　2,900部	2,500部	2,500部	2,900部	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
0	0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）
計画どおりガイドブックの発行及び配布を実施した。
（課題・問題点）
今年度は市公式SNSでの周知を行わなかったため、電子媒体での周知を行いたい。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

・「もばらで子育てガイドブック2025」の発行及び配布
・「もばらで子育てガイドブック2026」の作成

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）数値目標は達成したため。

（課題・問題点）ガイドブックの反応がどのようだったのか。配布だけではなく、目標の見直しが必要。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	23	基本目標	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画
事業名	子育てに関する相談業務の充実	主要課題	Ⅲ-3　家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	(2)子育て支援の充実
担当者職氏名	保健師　宮下 祐子	内線番号	7875

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

①要保護児童対策地域協議会を構成する関係機関との連携による支援の充実
②こども家庭センターで困難を抱える家庭等を対象にサポートプランを作成し、安心して子育てができる環境を整えていく。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

夫婦で子育ての不安や孤立感を解消できるよう、広報もばらや市公式ウェブサイトを活用して相談業務の周知を図るとともに、子育て支援課（子育て家庭相談室）及び保育所・幼稚園・保健センターなどの身近な施設において、育児・子育てに関する相談に対応します。また、児童虐待などの専門的な内容や困難事例については、要保護児童対策地域協議会を構成する関係機関と連携を図りながら対応します。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

個別支援会議　　年50回以上

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①要保護児童対策地域協議会を構成する関係機関との連携による支援の充実
②こども家庭センターで困難を抱える家庭等を対象にサポートプランを作成し、安心して子育てができる環境を整えていく。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①代表者会議・実務者会議・個別支援会議を開催し、関係機関と連携を図り、児童虐待防止を図った。 ②こども家庭センターを設置し、母子保健と児童福祉双方の機能を一体化することで、包括的な支援ができるように努めた。サポートプランについては、作成件数24件(児童福祉：14件/母子保健：10件)のうち、手交したのは2件であった。	①63回 (うち個別支援会議数：56回)	①646名（男230名・女416名）

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）
個別支援会議　56回	43回	37回	43回	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
1,558	737	66

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）
実務者会議で進行管理を行い、必要に応じて個別支援会議を開催して関係機関と支援方針を決定して支援することで、虐待の重症化を予防することができた。
（課題・問題点）
子育てに困難を抱える家庭と課題を共有し、子どもの声を反映させたサポートプランを作成することが十分にできていない。当事者の困り感と支援者の心配していることを、関係性を構築しながら伝えていけるスキルを習得していく必要がある。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

①要保護児童対策地域協議会を構成する関係機関との連携による支援の充実
②こども家庭センターで困難を抱える家庭等を対象にサポートプランを作成し、安心して子育てができる環境を整えていく。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	□ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	□ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）目標は達成している。

（課題・問題点）男女共同参画としてはどのような対応をしているのかはっきり示してほしい。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

□ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	□ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	□ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	24	基本目標	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画
事業名	移動式赤ちゃん休憩室の貸出	主要課題	Ⅲ-3　家庭における男女共同参画
課係名	生活課	施策の方向	(2)子育て支援の充実
担当者職氏名	副主査　大本　淳司	内線番号	7252

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

赤ちゃん連れの子育て世代が屋外におけるイベント等へ安心して外出できるよう支援するため、主催者に成り得る団体等や市民に対して移動式赤ちゃん休憩室の周知を引き続き継続し、積極的な活用を促す。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

子育て世代が屋外におけるイベント等へ赤ちゃん連れで安心して外出することができるよう、イベント主催者等に対して、移動式赤ちゃん休憩室を無償で貸し出しします。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

移動式赤ちゃん休憩室の貸出件数　年4回以上

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①各種団体等へ市公式ウェブサイト等で周知・啓発
②自治会長ハンドブックに掲載し、周知・啓発

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①市公式ウェブサイトにて周知 ②自治会長ハンドブックに掲載（令和6年6月）	1回 1回	

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）
移動式赤ちゃん休憩室の貸出件数　2回	3回	4回	4回	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
0	0	0

CHECK（評価）

【1次評価】　担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

- ☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）
- ☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）
- ☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）　貸出件数は前年度より減となった。
（課題・問題点）　移動式赤ちゃん休憩室の貸し出しについて、引き続き広く周知が必要である。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

赤ちゃん連れの子育て世代が屋外におけるイベント等へ安心して外出できるよう支援するため、主催者に成り得る団体等や市民に対して移動式赤ちゃん休憩室の周知を引き続き継続し、積極的な活用を促す。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）貸出数が少ないから。

（課題・問題点）周知方法の検討を。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	25	基本目標	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画
事業名	多様な働き方を支援するための保育サービスの拡充	主要課題	Ⅲ-3　家庭における男女共同参画
課係名	保育課	施策の方向	(2)子育て支援の充実
担当者職氏名	係長　熊谷　拓哉	内線番号	7883

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

病児・病後児保育については、令和5年度から開設時間が短くなったことから、新たな実施場所について、茂原市内、長生郡市内の広域的な実施のため継続して検討する。
延長保育の時間延長については、他の保育所も実施可能か検討する。
一時預かりについては、引き続き保育環境を整え実施していく。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

子育てと仕事が両立できるように延長保育事業、一時預かり事業、病児・病後児保育事業、ファミリーサポートセンター事業の充実に努めます。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

・延長保育の実施時間を延長する保育施設　　現計画中に2カ所
・一時預かりを実施する保育施設　　現計画中に3カ所
・病児・病後児保育を実施する保育施設　　現計画中に1カ所

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

延長保育事業、一時預かり事業、病児・病後児保育事業及びファミリーサポートセンター事業を引き続き適正に実施する。また鶴枝保育所等一時預かり事業のPRに努める。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
・病児・病後児保育事業については、白子町の酒井医院との委託により実施した。 ・ファミリーサポートセンター事業については、保育課が窓口となり適正に実施した。 ・延長保育の実施時間延長については、引き続き豊田保育所にて実施した。 ・一時預かりについては、引き続き朝日の森保育所（余裕活用型）及び鶴枝保育所（一般型）にて実施し、乳児健診対象者にちらしを配布する等、事業のPRに努めた。		

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）
・延長保育の実施時間を延長する保育施設 ・一時預かりを実施する保育施設 ・病児・病後児保育を実施する保育施設	・1カ所 ・1カ所 ・1カ所	・1カ所 ・2カ所 ・1カ所	・1カ所 ・2カ所 ・1カ所	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
病児：3,152　ファ：400	病児：3,152　ファ：283	病児：2,993　ファ：439

CHECK（評価）

【1次評価】　担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）病児・病後児保育事業について、白子町の酒井医院に委託により実施することで、茂原市民の利用料が値下げされ、利便性が高まった。また、延長保育、一時預かり保育についても、一定程度保護者のニーズに応えることができた。
（課題・問題点）病児・病後児保育事業については、酒井医院の事業実施が困難となった場合に備えて、他の委託先も検討していく必要がある。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

病児・病後児保育については、新たな実施場所について、茂原市内、長生郡市内の広域的な実施を前提に継続して検討する。
延長保育の時間延長については、他の保育所も実施可能か検討する。
一時預かりについては、引き続き保育環境を整え実施していく。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）保育施設の箇所数について、R4年度～R6年度と同数を維持している。

（課題・問題点）病児・病後児保育については、委託先が1カ所であるため、委託候補先を複数化する必要がある。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	26	基本目標	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画
事業名	放課後等の子どもの居場所づくり	主要課題	Ⅲ-3　家庭における男女共同参画
課係名	保育課	施策の方向	(2)子育て支援の充実
担当者職氏名	係長　紺野　晃弘	内線番号	7886

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

待機児童が発生している小学校区における学校の施設活用等の検討を行うとともに、公設学童クラブと民設学童クラブの利用料等の格差解消の検討を行う。また、夏休みや春休みの長期休業期間においても待機児童の発生が見込まれることから、待機児童解消の検討を行う。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

学童クラブでは、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に、授業の終了後等に公共施設等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図ります。また、国の「放課後子どもプラン」において学校施設の徹底的な利活用が定められていることから、教育部門と連携し、小学校の余裕教室等を利用した保育環境の向上を図ります。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

・学童保育の開設場所　　現計画中に20カ所
・学童保育の児童数　　年650人

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①施設老朽化の進む東郷第2学童クラブについて、子どもたちが安心・安全に学童クラブで過ごせるよう、小学校関係者と学校施設への移設に向け協議を行う。
②公設学童クラブと民設学童クラブの利用料格差是正のため、補助金の増額に取り組む。
③待機児童の多い夏期学童クラブについて、実施施設の拡充に取り組む。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①施設老朽化の進む東郷第2学童クラブを小学校関係者と協議の結果、令和7年10月から小学校内にある特別活動室へ移設できることになった。 ②公設学童クラブと民設学童クラブの利用料格差是正を目的とし、令和7年度に補助金増額をすることができた。 ③待機児童の多い夏期学童クラブについて、令和7年度に実施施設の拡充をすることができた。		

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）
・学童保育の開設場所 ・学童保育の児童数	・20カ所 ・578人	・18カ所 ・558人	・16カ所 ・589人	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
84,514	79,687	111,875

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）東郷第2学童クラブの移設、公設学童クラブ・民設学童クラブ利用料格差是正、夏期学童クラブ実施施設拡充など計画どおりに実施することができた。
（課題・問題点）一部の民設学童クラブから保護者会での学童クラブ運営は負担が多いなどの理由から公設化への要望書が提出され、また一部の民設学童クラブからは補助金の増額について要望書が提出されている。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

①民設学童クラブの公設化を検討する。
②民設学童クラブへの補助金の増額を検討する。
③待機児童の多い夏期学童クラブについて更なる施設拡充を検討する。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）取り組み計画の内容を達成した。

（課題・問題点）補助金のさらなる増額に向けた取り組みを行うこと。待機児童減少に向けた取り組みに力を入れること。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	27	基本目標	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画
事業名	高齢者の総合相談窓口の充実	主要課題	Ⅲ-3　家庭における男女共同参画
課係名	高齢者支援課	施策の方向	(3)介護支援の充実
担当者職氏名	副主査　岩坂　理奈	内線番号	6243

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

これからも関係機関との連携を継続しつつ、それぞれの支援の質を高めていく必要がある。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

介護を必要とする人とその家族にとって、身近な相談窓口となる地域包括支援センターを日常生活圏域ごとに設置し、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員が中心となり、地域で暮らす高齢者を介護・福祉・健康・医療など、さまざまな面から総合的に支えます。各地域住民へ、地域包括支援センターを広く周知し、相談窓口の充実に努めます。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

障害や生活困窮など複合的な課題を抱える世帯に対して、関係機関と密接に情報共有・連携を図りながら支援していく。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
・窓口や電話での相談だけでなく、市内の地域包括支援センターやその他関係機関と連携し、情報共有を図り、課題解決に向けた支援に努めた。		

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
106,013	102,507	106,992

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

- ☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）
- ☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）
- ☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）
各関係機関が連携し、改善に取り組めていた。
（課題・問題点）
事例によっては改善するための手段がなく、長期化している。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

これからも関係機関との連携を継続しつつ、それぞれの支援の質を高めていく必要がある。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3
(d)適切な数値目標が提示されているか	

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

・課題解決に向けた支援について一定の評価ができた。
・相談件数の記載がない。

改善策等の提言

地域包括支援センターへの業務内容について、地域のトータルな運営協議会（市行政、医療関係者、介護関係者、民生委員、自治会）を開催し、議論されたい。

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	28	基本目標	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画
事業名	認知症高齢者と家族等への支援の充実	主要課題	Ⅲ-3　家庭における男女共同参画
課係名	高齢者支援課	施策の方向	(3)介護支援の充実
担当者職氏名	副主査　岩坂　理奈	内線番号	6243

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

・認知症サポーター養成講座は市内の高校、市役所内職員、市議会議員などにも開催する。
・市内の4つの日常生活圏域（ほんのう・ちゅうおう・もばら・みなみ）ごとで認知症地域支援推進員とほっとみまもり隊で話し合いを行い、認知症の活動について話し合いを行い、チームオレンジの立ち上げにつなげる。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

認知症の方とその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援する「認知症サポーター」の養成を図ると同時に、サポーターとしての支援活動に賛同した方を「ほっとみまもり隊」に登録し、「ほっとみまもり運動」を実施していきます。また、認知症サポーター養成講座受講者が地域で活動する「チームオレンジ」の啓発を行い、本市でチームオレンジが立ち上がるよう支援活動を実施します。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

・認知症サポーター養成講座は市内の高校、市役所内職員、市議会議員などにも開催する。
・市内に1回所以上のチームオレンジを立ち上げる。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
・今年度初めて茂原高校での実施ができた。 ・市役所職員や市議会議員への開催はできなかった。 ・チームオレンジについては各地区で話し合いを行ったが、立ち上げまでには至らなかった。		

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
349	298	368

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）
茂原高校で開催でき、初めて高校での開催ができた。
（課題・問題点）
小学校や中学校、高校などまだ実施できていない学校がある。
働いている世代への実施ができていない。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

小・中学校や高校などでの実施。
働く世代への認知症サポーター養成講座をアピールしていく。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）高校での開催など、一定程度の評価ができる。

（課題・問題点）過去の講座開設回数や、参加人数の把握をし、アピールの成果に対する客観的根拠を作成する。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	29	基本目標	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画
事業名	市民へのワーク・ライフ・バランスの推進	主要課題	Ⅲ-4　労働の場における男女共同参画
課係名	企画政策課	施策の方向	(1)ワーク・ライフ・バランスの推進
担当者職氏名	主事　鈴木　波	内線番号	7454

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

引き続き情報発信を行うとともに、男女共同参画への市民意識調査実施により、市民への周知度、市民への理解度の把握をした上で、効果的な啓発方法を検討する必要がある。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

関係機関と連携し、ワーク・ライフ・バランスについて、広報もばら・市公式ウェブサイトなどを活用し、市民への意識啓発を図るとともに、市民一人ひとりが人生の各段階に応じて多様な働き方の選択ができるよう情報提供を行います。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

・男女共同参画への市民意識調査を行い市民への周知度、市民の理解度を把握する。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
・市民3,000人を対象に男女共同参画についてのアンケート調査を行い、市民への周知度、市民の理解度の把握をすることが出来た。回答者にワーク・ライフ・バランスについて再度意識づけを行う契機を与えた。	1回	3，000件（回収数815件）

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
0	0	0

CHECK（評価）

【1次評価】　担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）アンケートの実施により、幅広い年代の意識や認識を確認することができた。

（課題・問題点）WEBで回答できるよう工夫をしたが、問題数が多すぎるなどの理由で回収率が低かった（27.2%）。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

次回は回収率を上げより正確な情報を得られるよう、アンケート内容の検討を重ねる必要がある。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）アンケートの実施により、幅広い年代の意識や認識を確認できている。

（課題・問題点）問題数の見直し等により、アンケートの回答率を上げていくよう努める。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	30	基本目標	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画
事業名	事業所へのワーク・ライフ・バランスの推進	主要課題	Ⅲ-4　労働の場における男女共同参画
課係名	商工観光課	施策の方向	(1)ワーク・ライフ・バランスの推進
担当者職氏名	主事補　元吉　真優花	内線番号	7632

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

情報発信による周知を継続的に行う。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

関係機関と連携し、ワーク・ライフ・バランスについての意識啓発に努めるとともに、広報もばら・市公式ウェブサイトなどを活用し、「県男女共同参画推進事業所表彰制度」の周知を行い、企業等の積極的な取り組みを促進します。また、各事業所において長時間労働の是正や育児・介護休業取得率向上等の両立支援の取り組みが促進するよう啓発を実施します。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

市公式ウェブサイト等を積極的に活用するとともに、関係機関のパンフレットの配付によりワーク・ライフ・バランスに関する情報提供及び周知に努める。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
市ウェブページに「働き方改革」や「ワークライフバランス」へのリンクの掲載、パンフレットの配架やSNSによる情報発信を行った。		

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
0	0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

- ☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）
- ☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）
- ☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）情報発信による周知が行えた。

（課題・問題点）企業等の積極的な取り組みを促進するのには、市レベルでの働きかけでは限界がある。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

情報発信による周知を継続的に行う。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）複数の周知方法を用いて、継続的な周知を行うことができた。

（課題・問題点）周知方法について、過去のやり方に捉われない方法の検討を行う。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

・情報発信はしっかり行っている。更なる工夫を願う。

改善策等の提言

・企業等の積極的な取組を促進するのには、確かに市レベルでは限界があると思う。しかし、当市は小中企業が多く、商工会議所と連携した取り組みは可能かなと思う。根気よく続けて欲しい。優良事業所の表彰制度を取り入れることも検討して欲しい。
・本課題は厚生労働省・千葉労働局が重点事項として施策展開している分野である。市が行えることには限界があり、そして予算が割り当てられていない現状なら、施策展開しにくいのは仕方がないとも考えられる。国が重点事項としている課題について、市が行う必要性、市だからこそできることは何なのか、この分野で市が行うことは何なのかを、一度、よく検討することが必要ではないか。

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	31	基本目標	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画
事業名	市職員へのワーク・ライフ・バランスの推進	主要課題	Ⅲ-4　労働の場における男女共同参画
課係名	職員課	施策の方向	(1)ワーク・ライフ・バランスの推進
担当者職氏名	係長　坂本信太郎	内線番号	7431

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

育児休業の取得について、職員の意識改革を継続していく必要がある。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

市職員自らワーク・ライフ・バランスを実践できるよう、意識啓発を行います。また、特定事業主行動計画に基づき、各種休暇・休業制度及び育児・介護休業が男女共に偏りなく活用できるよう働き方改革の目標と併せて職業生活と家庭生活との両立を支援します。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

特定事業主行動計画の実施状況の公表　年1回

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

・有給休暇等の取得促進と時間外勤務の適性な管理について、職員に対して通知を発出し、意識啓発に努める。
・各種休暇・休業制度等について、説明会を実施することで制度の周知を図る。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①特定事業主行動計画の実施状況をホームページで公表した。 ②次世代法に基づく特定事業主行動計画を見直し、新たな計画を策定した。 ③令和6年4月及び6月に全職員に対して、時間外勤務の上限規制及び年次有給休暇の取得推進について通知を発出し、意識啓発に努めた。 ④超過勤務職員に対して、産業医等との面談を実施し、職員及び所属長に対して適切な指導を行った。 ⑤令和7年1月に服務制度の説明会を開催し、各種休暇・休業制度に対して周知を図った。	年1回	

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）
特定事業主行動計画の実施状況の公表	1回	1回	1回	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
0	0	0

CHECK（評価）

【1次評価】　担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）特定事業主行動計画の数値公表を行うとともに、休暇・休業制度及び育児・介護休業については、服務制度説明会を実施し、職員からの個別相談にも適宜対応を行い、制度の周知を図った。
（課題・問題点）時間外勤務については、上限規制を超える時間外勤務を行なわなければならない職員がいる。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

超過勤務職員に対しては、産業医等の面談を行い健康管理を行うとともに、所属に対してヒアリングを実施し職場環境の改善を促す。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	□ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	□ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）取り組み計画を達成することが出来た。

（課題・問題点）時間外勤務の実態の把握に努める。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

□ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	□ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	□ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	32	基本目標	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画
事業名	男女雇用機会均等や育児・介護休業に係る法制度の周知とポジティブ・アクション（積極的改善措置）の促進	主要課題	Ⅲ-4　労働の場における男女共同参画
課係名	商工観光課	施策の方向	（2）雇用機会の均等と職場環境の整備・改善
担当者職氏名	主事補　元吉　真優花	内線番号	7632

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

情報発信による周知を継続的に行う。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

男女共に仕事と育児・介護が両立できる職場環境を整備するため、男女雇用機会均等や育児・介護休業に係る法制度の周知を図ります。また、商工会議所等の関係機関と連携し、企業・団体におけるポジティブ・アクション（積極的改善措置）の実行等を通じ、積極的に女性を指導的地位へ登用するよう促します。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①関係機関と連携し、企業・団体におけるポジティブ・アクション（積極的改善措置）の実行等を通じ、積極的に女性を指導的地位へ登用するよう促す。
②男女ともに仕事と育児・介護が両立できる職場環境を整備するため、男女雇用機会均等や育児・介護休暇に係る法制度の周知を図る。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
関係機関による相談窓口や法制度に関するチラシ等の案内を市窓口で配布した。 また、市ウェブページやSNSを活用し、情報発信に努めた。		

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
0	0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

- ☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）
- ☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）
- ☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）情報発信による周知が行えた。

（課題・問題点）企業等の積極的な取り組みを促進するのには、市レベルでの働きかけでは限界がある。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

情報発信による周知を継続的に行う。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）複数の周知方法を用いて、継続的な周知を行うことができた。

（課題・問題点）周知方法について、過去のやり方に捉われない方法の検討を行う。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	2
(d)適切な数値目標が提示されているか	

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

・情報発信はしっかり行っている。
・周知方法に工夫が見られない。

改善策等の提言

・予算もない中で難しいとは思うが、商工会議所等の関係機関と連携して、何かできないものか！
例えば、千葉労働局の担当部（均等室）あたりに頼めば、無料で講師を引き受けてくれるのではないか・
（参考意見）
厚生労働省の「地域の特性を生かしたワークライフバランス推進事例集」には自治体から事業所への働きかけなどの具体例が載っている。他自治体からも学んでWEBページにリンクを貼ったりパンフレットを配架するだけでない活動を工夫することを、市民は市に望んでいると思うのだが。

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	33	基本目標	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画
事業名	就労を希望する女性の再チャレンジ支援	主要課題	Ⅲ-4　労働の場における男女共同参画
課係名	商工観光課	施策の方向	(2)雇用機会の均等と職場環境の整備・改善
担当者職氏名	主事補　元吉　真優花	内線番号	7632

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

次年度も同様に開催予定。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

県及び関係機関と連携し、女性の職業能力の向上のための講座や再就職を支援するための情報提供を実施します。また、広報もばら・市公式ウェブサイトを利用し、就業相談窓口の情報を提供するとともに、女性の就職・再就職等のための相談事業の支援を実施します。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

セミナー等の開催　　年1回

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①千葉県ジョブサポートセンターと連携し、再就職を支援するセミナーを開催する。
②ハローワーク茂原やマザーズハローワークなどの支援機関が回サウスる講座や、就職・再就職支援の取組みについて、広報・市公式ウェブサイト等への掲載により情報を提供するとともに、関係機関のパンフレット等を商工観光課カウンターに設置する。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
全年齢向け再就職支援セミナー　９月２４日　１０時から１２時	1回	13人（男9人、女4人）

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）
セミナー等の開催　1回	1回	1回	1回	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
0	0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）セミナー等の開催を数値目標どおり行った。

（課題・問題点））第4次計画に定められた具体的取り組み計画では情報提供を実施するとしており、セミナーの開催等を行うものとなっていないので、PDCAサイクルが展開できるものとなっていない。なお、ハローワークや商工会議所が行うセミナー等の周知はSNSを用いて行っている。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

次年度も同様に開催予定。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）取り組み計画の内容を達成することができた。

（課題・問題点）次年度も同様に開催すること。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3
(d)適切な数値目標が提示されているか	

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

・目標は達成できている。

改善策等の提言

・ハローワーク等、関係機関と協力して実施することも視野に入れて欲しい。
・今後の労働力不足も視野に入れて、女性への職業能力向上の講座や再就職支援の情報提供にとどまらず、セミナー参加者の最終的な就職率にも反映されると、より本気度がUPした手ごたえが感じられると思う。

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	34	基本目標	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画
事業名	農業における女性グループ活動の支援と女性起業家の育成	主要課題	Ⅲ-4　労働の場における男女共同参画
課係名	農政課	施策の方向	(4)農業・自営業等における男女共同参画の促進
担当者職氏名	副主査　井上　一平	内線番号	7618

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

近年、本市への移住を検討しての就農相談を受けている現状があり、相談者の中には、女性の就農希望者もいることから、千葉県長生農業事務所やJA長生等の関係機関と引き続き連携し、新たな取り組みを検討していく。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

女性農業者グループ「麦の会」が郷土料理や地元農産物をPRすることにより、地産地消や食事への取り組みを促進します。また、女性起業家を育成するため、女性農業者に県主催の起業講座や研修会への参加を促進するとともに、6次産業の補助金制度等の情報を提供します。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

女性の新規農業起業家数　　年1人以上

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

今の体制では具体的な取り組みが図れていなかったため、今後女性の新規就農者農業起業家を増やすための体制を構築する。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
・令和7年度から長生農業独立支援センターに加入し、今後女性の新規農業起業家を増やす体制を構築した。 ・9月に開催されたちばフェスにて、関係機関と共同で出展し、女性の新規農業起業家の増加に繋がる啓発を行った。		

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）
女性の新規農業起業家数	0人	0人	0人	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
0	0	1,550

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）
数値としての成果は無かったが、令和7年度から長生農業独立支援センターに加入する協議が整い、女性の就農希望者の受け入れ体制が強化されるため。
（課題・問題点）
女性の新規農業起業家の獲得に向け、啓発活動や育成支援について強化を図る。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

長生農業独立支援センターと協働して、大規模な就農セミナーへの出展、女性の新規就農者自体の増加を図れるよう、現状の体制では出来なかった取り組みを実施していく。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）受け入れ体制が強化できた。

（課題・問題点）啓発活動や育成支援のさらなる強化を行う。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3
(d)適切な数値目標が提示されているか	2

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

・長生農業独立支援センターに加入して、受け入れ体制づくりが強化された。
・女性の新規就農者はいなかったが、それに向けて努力している。

改善策等の提言

・引き続き、新規就農希望者への継続的なサポート体制も並行して進められたい。長生農業独立支援センターとの協働に期待する。
・経験者である女性就農者の方たちを講師に、講演会を開催してはどうか。
（参考意見）
機会を見つけては、支援センターを活用した女性就農者の体験談などを紹介したり、作物を販売したりなどの広報活動に力を入れていけるといいと思う。産業まつりや七夕などイベントの際に広く就農をPRできればと思う。農産物の販売にしても、そこに関わった農家の女性の話などをチラシなどにして紹介できたらと考える。

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	35	基本目標	Ⅲ　さまざまな分野における男女共同参画
事業名	農業における家族経営協定締結の促進	主要課題	Ⅲ-4　労働の場における男女共同参画
課係名	農政課	施策の方向	(4)農業・自営業等における男女共同参画の促進
担当者職氏名	副主査　井上　一平	内線番号	7618

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

引き続き、就農相談があった際に制度の案内をすると共に県農業事務所等の関係機関と連動し、働きかけをする。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

家族農業経営について、経営方針や役割分担等、家族みんなが働きやすい就業環境を整備するため、家族間で取り決める「家族経営協定」の締結を促進します。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

家族経営協定の新規締結数　　年1件以上

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

新たに農業を始める者だけではなく、既に農業経営をしている農業者へ対しても協定の締結を推進する。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
・近い将来、農業経営の継承を行う予定がある者に対して、家族経営協定を締結した。	1	男性2名/女性1名
・既に家族経営協定を締結し、年数経過している者に対して、経営状況の変化に伴う協定内容の見直しをするよう指導した。	1	男性1名/女性1名
・次年度、新規就農をする者に対して、パンプレット等を用いて説明をした。	1	男性1名

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R6（参考）	R7（参考）
家族経営協定の新規締結数	0件	0件	1	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
0	0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）家族経営協定の新規締結数が年1件以上のところ、1件達成した。
（課題・問題点）農業経営の経験年数に捉われず、協定締結の必要性を感じる経営体に対し、広く呼びかけていく。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

引き続き、制度の案内をすると共に、関係機関と協同して働きかけをしていく。
また、協定が形骸化しないよう協定内容が実行されているか適宜確認する。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	□ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	□ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）取り組み計画の内容を達成した。

（課題・問題点）制度の案内強化・協定内容の適正な実行に努める。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

□ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	□ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	□ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	36	基本目標	Ⅳ　誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	高齢者の自主活動への支援	主要課題	Ⅳ-1　安心して活動できる環境の整備
課係名	高齢者支援課	施策の方向	（1）高齢者・障害者施策の充実
担当者職氏名	主査　金木　直美	内線番号	6243

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

引き続き茂原市社会福祉協議会と連携し、もばら百歳体操の普及・啓発に努める。
新たにもばら百歳体操を行う団体を支援し、補助金を交付する。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

高齢者がいきいきと健康的に過ごすためには、フレイルを予防し、社会参加や運動の機会等を持つことが重要です。そのため、生活支援コーディネーターと連携し、地域で自主的に行われている、通いの場の把握や情報提供を行います。また、自宅から近い場所で通えるよう、男女問わず簡単に実施できる「もばら百歳体操」の実施を地区社会福祉協議会へ委託するとともに、通いの場を増やすため、「もばら百歳体操」を新たに実施する団体へ補助金を交付します。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

・社会福祉協議会もばら百歳体操参加者数延　　年2,500人以上
・補助金交付団体　　年2団体以上

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

・通いの場が継続して運営できるよう茂原市社会福祉協議会や生活支援コーディネーターと連携し情報提供・支援をする。
・新たにもばら百歳体操を実施する団体に補助金を交付する。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
茂原市社会福祉協議会にもばら百歳体操の業務委託を行い、もばら百歳体操の普及・啓発に努めた。 新たにもばら百歳体操を実施する3団体に補助金の交付を行い活動の支援をした。	807回	12，862人

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）
・社会福祉協議会もばら百歳体操参加者数延　12,862人 ・補助金交付団体　3団体	・2,226人 ・0団体	・4,090人 ・0団体	・10825人 ・2団体	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
2,510	2,163,816円	2,683,000円

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）
茂原市社会福祉協議会と連携し、普及啓発に努めた。回数、人数とも増加している。
（課題・問題点）
活動が継続して行えるよう生活支援コーディネーターが支援し、参加者の増加に努める。
希望団体を理学療法士、保健師が訪問し効果的な運動となるよう指導する。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

引き続き茂原市社会福祉協議会と連携し、もばら百歳体操の普及・啓発に努める。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）取り組み計画の目標人数を大幅に超える効果を出したため。

（課題・問題点）引き続き、関係機関と連携し、普及・啓発に努める。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	37	基本目標	Ⅳ　誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	障害者（児）の地域生活支援の充実	主要課題	Ⅳ-1　安心して活動できる環境の整備
課係名	障害福祉課	施策の方向	（1）高齢者・障害者施策の充実
担当者職氏名	松﨑　澄宏	内線番号	6214

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

関係機関と連携し、制度の周知に努め、障害のある方、その家族等の希望にあった障害福祉サービスが利用できるよう取り組んでく。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

障害のある人もない人も共に暮らせる地域づくりという考えのもとに、障害者（児）と介護者のための障害福祉サービスや地域生活支援事業を実施することで、性別にとらわれない介護に対する支援の推進を図ります。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、居宅介護、短期入所、同行援護、児童発達支援、放課後等デイサービス、日中一時支援、移動支援等のサービスを適切に提供する。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
各サービスの総延利用者数　6,177人（R5　実績　5,750人） ＜内訳＞		

サービス名	延利用者数	実利用者数
居宅介護（R6.3～R7.2）	1,298人（1,241人）	129人（131人）
短期入所（R6.3～R7.2）	558人（ 511人）	79人（ 83人）
同行援護（R6.3～R7.2）	166人（ 155人）	17人（ 16人）
児童発達支援（R6.3～R7.2）	1,165人（1,129人）	145人（145人）
放課後等デイサービス（R6.3～R7.2）	2,351人（2,076人）	235人（195人）
日中一時支援（R6.3～R7.2）	521人（　508人）	52人（ 55人）
移動支援（R6.3～R7.2）	118人（　130人）	20人（ 20人）

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
738,614	719,512	742,453

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）相談支援体制の充実を図るとともに、相談支援事業の実施により、障害のある者（児）の家族等が抱えている悩みや問題を解決し、障害福祉サービス等の利用に繋げ、社会全体で支える介護の推進を図ることができた。

（課題・問題点）障害者（児）や家族等に、相談窓口や各種サービスを理解してもらえるよう、今後も制度の周知活動を行う必要がある。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

・引き続き、関係機関と連携し、制度の周知に努め、適正なサービスの提供を行う。
・総合的、専門的な相談支援を行う基幹相談支援センターを設置する。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）適切なサービスの提供により利用者の増加を確認できた。

（課題・問題点）利用者の全体像の把握に努め、適切なサービスを提供する。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	38	基本目標	Ⅳ　誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	障害者（児）の相談事業の充実及び社会復帰の促進	主要課題	Ⅳ-1　安心して活動できる環境の整備
課係名	障害福祉課	施策の方向	（1）高齢者・障害者施策の充実
担当者職氏名	松﨑　澄宏	内線番号	6214

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

「基幹相談支援センター」、「医療的ケア児等支援のための協議の場」の早期設置に向けた検討を行う。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

障害福祉サービスの利用に必要な情報の提供、助言、支援を行うとともに、地域生活支援センター等の関係機関と連携することで、相談支援体制の充実を図り、障害の有無や性別にとらわれない、社会復帰に向けた支援の促進を図ります。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

・障害者（児）の各種福祉サービス提供や日常生活の相談等を行う。
・長生地域生活支援センター、生活支援センターつくも、障害者相談員、保健師等により、身体・知的・精神・児童、全ての障害に対応した電話、窓口相談、家庭訪問等の支援を実施する。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
令和6年4月から令和7年3月までの延相談件数　7,538件 （R5実績　7,118件） 【内訳】 長生地域生活支援センター　5,851件（R5実績　5,184件） 生活支援センターつくも　261件（R5実績　354件） 障害者相談員　340件（R5実績　373件） 障害福祉課職員（保健師、社会福祉士等）1,086件（R5実績　1,207件）		

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
14,795	14,344	18,456

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）
・　個々のケースに応じて障害福祉サービス及び地域生活支援事業により適正な支援を実施することで支援体制を整え、社会で支えていくための介護の推進を図ることができた。
・　医療的ケア児者等支援のための協議の場を設置した。
・　基幹相談支援センターの設置のための予算を確保した。
（課題・問題点）　引き続き相談支援体制の充実を図る。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

・　長生郡6市町共同による基幹相談支援センターを設置し、総合的・専門的な相談支援を行うことにより、地域の相談支援体制の強化を図る。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	□ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	□ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）相談件数の増加と関係機関との協議の場を設けた。

（課題・問題点）センター設置の周知。引き続き機関との連携。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

□ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	□ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	□ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	39	基本目標	Ⅳ　誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	精神保健相談の実施及び社会復帰の支援	主要課題	Ⅳ-1　安心して活動できる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	（1）高齢者・障害者施策の充実
担当者職氏名	保健師　松井麻理	内線番号	7244

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

性差やライフステージに応じた健康問題、経済・生活問題、家庭問題等に対し、心身ともに健康で安定した社会生活が送れるよう関係機関と連携しながら総合的に支援する。またWebサイトを活用した更なる周知や、相談を受ける側のスキルアップをし、自殺対策における取り組みを強化していく。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

精神保健福祉士等による「こころの健康相談」や、保健師による「健康相談」、各種健（検）診を通じて、さまざまな悩みや精神疾患を持つ方をはじめとした自殺予防等のための相談を充実させるとともに、精神科病院・保健所等の各相談専門機関や専門家等との連携を図り、こころの健康づくりの支援に努めます。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

こころの健康相談　年12回　48人以上

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

・こころの健康相談を年12回実施し、相談者が抱える悩みに対応し必要な機関に繋ぐ。
・ゲートキーパー養成講座を実施し、自殺対策について理解を深め、自殺の危険を示すサインに気づき適切な機関に各日に繋げる人材養成を図る。
・幅広い世代に対しこころの健康に関する啓発資材を配布し、ストレスの対処法やSOSの挙げ方、相談先を周知する。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①職員向けゲートキーパー養成講座 ②ゲートキーパーに関する出前講座 ③こころの健康相談 ④乳幼児家庭訪問事業にて、産後うつに関するチラシ配布と保健指導 ⑤思春期教室でのチラシ配布 ⑥自殺予防に関する啓発（新人職員メンタルヘルス研修）	①2回 ②1回 ③12回 ④379 ⑤5回620 ⑥1回	①男36　女34 ②男0　女1 ③男8　女27 ④女379 ⑤男女比不明 ⑥男8　女9

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）
こころの健康相談　12回　35人	11回31人	11回30人	11回31人	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
326	324	345

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）「こころの健康相談」を、毎月1回実施し若年層も含め幅広い年齢層で相談があった。昨年度と比較すると相談件数は増加（4件増）している。
（課題・問題点）「こころの健康相談」については、保健師からの紹介を経て予約をする相談者も多く、相談先のイメージを具体的に持てることが相談を予約する動機づけになっていると考える。今後も保健センターだけでなく、市民対応の多い課・職員に対して自殺対策強化事業の周知を図り、各種相談に繋げられるようにしていく。また、本市では20-30代の自殺率が高いという現状があり若年層に向けた周知を工夫していく必要がある。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

性差やライフステージに応じた健康問題、経済・生活問題、家庭問題等に対し、心身ともに健康で安定した社会生活が送れるよう関係機関と連携しながら総合的に支援する。またWebサイトを活用した更なる周知や、相談を受ける側のスキルアップをし、自殺対策における取り組みを強化していく。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）参考にあるR3からの件数増加により目標に届かずとも大きな成果と考える。

（課題・問題点）引き続き、数値目標の達成に努めるとともに、参加者数の年代、傾向等の具体的把握も行う。男性参加者が少ないため、周知を図る。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	40	基本目標	Ⅳ　誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	男女共同参画の視点を取り入れた防災対策の充実	主要課題	Ⅳ-1　安心して活動できる環境の整備
課係名	防災対策課	施策の方向	(2)防災・防犯における男女共同参画の促進
担当者職氏名	係長　田中　泰史	内線番号	7462

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

今後も住民参加型の防災訓練を実施し、地域の防災力向上に努める。また、女性の要望も受け入れやすいような直近動員の配置、女性に配慮した災害備蓄品の配備に取り組んでいく。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

地域防災力の向上を目的に、男女のニーズの違いを考慮し、地域防災訓練の実施や避難所運営に関して、女性や要配慮者に配慮した取り組みを進めます。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①地域防災訓練において、女性や要配慮者への配慮や男女が参画する避難所運営を推進する。
②備蓄品の更新や拡充において、男女のニーズの違いや要配慮者に配慮した物品を考慮する。
③避難所の直近動員職員に女性職員の配置を推進する。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①茂原市地域防災訓練を実施。（新治地区：旧新治小学校・本納地区：本納中学校　計2ヶ所） ②女性や乳幼児を避難を想定して、生理用品や紙おむつ、アレルギー対応ミルク等の配備 ③全避難所の直近動員職員に女性職員の配置を行った。	1回	316名

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
4,941	3,554	3,907

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

- ☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）
- ☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）
- ☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）
9月に住民参加型の地域防災訓練を新治地区・本納地区にて実施した。合計316名の参加があり、男女問わず、避難所用資機材の設置、組立、炊き出し用ご飯の配食等の訓練に参加していた。また、災害用備蓄品についても女性の意見を取り入れながら整備を行っている。女性に配慮した避難所運営を進めるため全避難所の直近動員職員に女性職員を配置した。
（課題・問題点）引き続き男女問わず意見を取り入れながら、女性等に配慮した避難所整備を図っていく。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

住民参加型の地域防災訓練を実施し、地域防災力の向上に努める。また、避難所運営において、男女問わず相談等しやすい環境づくりのため女性職員の直近動員の配置や女性等に配慮した備蓄品の整備を行う。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）具体的意見の取り入れや配慮は行えているため、様々なケースの想定をした訓練を検討する。

（課題・問題点）夏や冬など季節に応じた避難の想定、訓練回数を増やすことを検討する。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	41	基本目標	Ⅳ　誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	自主防災組織の育成	主要課題	Ⅳ-1　安心して活動できる環境の整備
課係名	防災対策課	施策の方向	(2)防災・防犯における男女共同参画の促進
担当者職氏名	係長　田中　泰史	内線番号	7462

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

新規自主防災組織の設立を促進するため、出前講座等を活用し、地域全体の安全を担う自主防災組織の必要性について周知に努めたい。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

平常時及び災害発生時に住民自らが被害を防止・軽減するために、地域全体の安全を守る活動を行う自主防災組織について、既存の自治会単位での設立を推進する中で、男性だけでなく女性の参画も促し、活動の活性化を図ります。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

自主防災組織の新規設立　年5団体以上

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①自主防災組織リーダー育成研修会の開催。
②既存自主防災組織への資機材補助にあたり、女性の意見を取り入れるよう促す。
③出前講座開催時、自主防災組織の重要性や運営等への女性の参加について啓発する。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①自主防災組織リーダー育成研修会の実施。	1回	48名（男44名：女4名）
②資機材補助にあたり、防火・防災訓練に要する経費を加え、補助対象の拡充を行った。		
③自治会や団体等に対しての出前講座の実施や自治会長連合会総会において、自主防災組織の設立についての啓発を行った。	18回	
災害対策コーディネーター茂原女性部会の活動支援。	4回	

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）
自主防災組織の新規設立	2団体	2団体	0団体	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
2,386	1,381	1,235

CHECK（評価）

【1次評価】　担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

- ☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）
- ☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）
- ☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）
土日を中心に、自主防災会、自治会、学校等を対象に出前講座を開催したことにより、老若男女問わず多くの地域住民の参加を得られた。
（課題・問題点）
自主防災組織の新規設立

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

出前講座等を通し、自主防災組織の重要性の啓発に努める。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☑ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）目標の未達成、女性の意見以前に女性参加を促す具体的活動がない。

（課題・問題点）男女年代別の参加者に目を向け、それに沿った実施体制を整える。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	2	1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

・事業の実施については、一応行われているようだが結果に結びついていない。
・研修会における女性の参加者が極端に少ない。

改善策等の提言

・性別年齢によって視点が異なるので、異なる視点を生かして組織作りや研修会を進めることが大切と考える。
・新規設立も大切だが、今ある組織についてもどのような状態であるのか、検証が必要と考える。
・自治会に加入してない人の育成はどうするのか。自治会のない地域でどう防災対策が取れるか検討は済んでいるのか。
（参考意見）
女性の参加者を増やすためには出前講座の中で「備蓄品を使ったアイデア料理を作る」とか、「簡易トイレの使い方」とか座学だけではなく体験を取り入れてみたらどうか。出前講座に参加するきっかけになるのではないか。（すでに実施されていたらすみません）

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	42	基本目標	Ⅳ　誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	地域防犯体制の充実	主要課題	Ⅳ-1　安心して活動できる環境の整備
課係名	生活課	施策の方向	(2)防災・防犯における男女共同参画の促進
担当者職氏名	丸　典弘	内線番号	7259

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

地域の防犯活動を男女が共に担うため、防犯組合・自治会等との連携や、市公式ウェブサイト・広報もばら・生活安全だより等を活用した広報活動により、参加の促進を図る。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

住民自らが「自分たちの住む地域の安全は自分たちで守る」という強い連帯意識で実施している地域防犯活動について支援を行い、男女が共に担うことにより、地域防犯力の向上を図ります。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①自主防犯団体を育成し、活動の助成を行う。
②防犯組合、自治会等と協力し、自主防犯団体の結成を図る。
③地域の犯罪情報の提供や防犯組合と合同パトロールを実施する。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①防犯組合及び自主防犯団体を対象に「防犯研修会」を開催し、地域の防犯力向上に取り組んだ。 ②防犯組合へ補助金の交付、防犯組合及び自主防犯団体へ物資の支給を行った。 ③団体への犯罪情報の提供や、合同パトロールの実施により情報共有を図った。 ④防犯パトロールについて、男女平等に機会を与え、参加を促した。	防犯研修会	47名（男性45名　女性2名）

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
583	543	487

CHECK（評価）

【1次評価】　担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）
犯罪認知件数は前年と比較すると微増傾向にあるが、5年間の推移で比較すると減少傾向にあるため。
（課題・問題点）
「自分たちの住む地域の安全は自分たちで守る」には、市民の防犯意識の向上が重要となるため、防犯研修会や防犯パトロールには男女を問わず参加していただく必要がある。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

地域の防犯活動を男女が共に担うため、防犯組合・自治会等との連携や、市公式ウェブサイト、広報もばら・生活安全だより等を活用した広報活動により、参加の促進を図る。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）研修会への女性参加者数が少ないこと。

（課題・問題点）研修会の回数を増やしたり、防犯に関する情報交換会のような女性が参加しやすい場を作る。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3
(d)適切な数値目標が提示されているか	

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

・防犯研修会への女性参加者が少なすぎる。

改善策等の提言

・男性と女性では、防犯に対しても視点が異なると思う。異なる視点を生かしてセミナーや研修などの開催を関係者と検討してはいかがか。
・自主防犯団体のメンバーを決める際に必ず女性を30%以上入れるなどの工夫をされたい。パトロールには出られなくても、女性の意見を聞くことは参考になると思う。話し合うことによってより意識が高まると考える。

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	43	基本目標	Ⅳ　誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	自らの健康を自ら管理する意識づくりについての啓発	主要課題	Ⅳ-2　健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	（1）生涯を通じた健康支援
担当者職氏名	係長　野村　一成	内線番号	7244

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

各種健（検）診について、従来の周知方法に加えてSNSの活用機会を増やすなど幅広い活動を展開する。健（検）診の必要性や市の検診を受診するメリットを強調するなど、行動経済学を取り入れた受診勧奨策により周知を図る。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

疾病の早期発見を目的とした各種健（検）診の受診勧奨と健康相談、健康教育など疾病予防に向けた保健事業を推進します。また、女性特有のがんの早期発見及び受診率が低い男性への啓発を図ることで、男女共に生涯健康でいられる社会づくりに努めます。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

・がん検診の周知・啓発回数　年1回以上
・がん検診の受診率　　肺がん20%、胃がん15%、大腸がん25%、子宮がん35%、乳がん40%

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　※箇条書きで具体的に記入

①4月1日時点年齢40歳の者に対して、市が行う各種検診の個別勧奨を実施。
②前回の検診受診者に対して、受診票を自動的に送付して受診勧奨。
③子宮頸がん検診：4月1日時点年齢20歳の女性及び25・30・32・34・36・38歳の検診未受診者に対して無料クーポン券による受診勧奨を実施するほか、個別検診を実施し、受診者のアクセスを拡充。
④乳がん検診：4月1日時点年齢40歳の女性及び45・50・55・60歳の検診未受診者に対して無料クーポン券による受診勧奨を実施するほか、個別検診を実施し、受診者のアクセスを拡充。
⑤「各種検診のお知らせ」を自治会配布。広報・公式ウェブサイト・SNSにより周知。
⑥他事業や出前講座等の機会を活用した身近な場所での女性のがん検診の啓発及び健康教育の実施。

DO（実施）

R6年度の実施結果　※箇条書きで具体的に記入　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①～⑥計画通り実施できた。 特に、⑤公式ウェブサイトにQRコードを活用した申込みフォームを掲載。 ⑥乳幼児相談・健診事業に併せて、啓発資料を配布。小学生を対象に、がん教育の授業を実施。女性の健康週間に合わせて、啓発資料の展示や女性の健康支援に関する講座を実施。		

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）
・がん検診の周知・啓発回数　26回（⑤⑥） ・がん検診の受診率　肺がん10.2%、胃がん3.2%、大腸がん7.0%、子宮頸がん12.8%、乳がん18.9%（R7.4.9現在）	・5回 ・肺がん10.5%、胃がん3.9%、大腸がん7.5%、子宮頸がん12.4%、乳がん17.8%	・20回 ・肺がん10.4%、胃がん3.7%、大腸がん7.5%、子宮頸がん12.8%、乳がん18.8%	・25回 ・肺がん10.4%、胃がん3.5%、大腸がん7.2%、子宮頸がん12.8%、乳がん16.7%	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
88,424	80,632	90,797

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）
コロナ禍での経験を踏まえ、適切な感染症対策を講じながら、可能なかぎり積極的に啓発や受診勧奨を実施し、さらに健康教育等においても成果を上げることができた。
（課題・問題点）
短期的には、男女共にコロナ禍で低下した検診の受診率が依然停滞気味であり、中長期的には、受診率の増加や健康教育等を確実な成果に繋げるために継続的な取組みが重要である。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

各種健（検）診について、従来の申込方法に加えてQRコードを活用した申込みフォームの更なる拡大を行い、利便性の向上を図る。健（検）診の必要性や市の検診を受診するメリットを強調するなど、行動経済学を取り入れた受診勧奨策により周知を図る。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）取り組み・実施は充分に行えているため、引き続き目標達成に努める。

（課題・問題点）数値とは結びついていないので、周知・表現の見直しを検討する。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	44	基本目標	Ⅳ　誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	人生の各段階に応じた健康相談と家庭訪問の実施	主要課題	Ⅳ-2　健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	子育て支援課	施策の方向	（1）生涯を通じた健康支援
担当者職氏名	保健師　小川栞	内線番号	7874

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

・感染症対策を講じながら実施ができるよう教室や事業の内容を見直し、あらゆる世代の人々の健康の維持増進を図る。
・孤立化しやすい妊産婦に対しては、オンライン等を活用しながら相談業務を充実させ、不安軽減を図る。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

生涯健康に関して安心して過ごせるよう、妊娠期から高齢期の各々の状態に応じた健康相談や家庭訪問を行います。困難事例に対しては、他団体・他機関と連携し、支援します。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①妊娠から出産まで一貫した母子保健サービスを地区担当保健師を中心として実施する。
②生涯を通じ、自己の健康を適切に管理・改善するための健康教育・健康相談を行う。
③電話・面接・家庭訪問を通じてあらゆる世代の人々への健康支援を推進する。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①助産師相談	①12回	①女12人／男6人／児5人
②ままのわ、ままのわミニセミナー	②15回	②女113人／男3人／児116人
③ままのわオンラインセミナー(離乳食編、卒乳編)	③0回	③0人
④出前講座	④8回	④156人
⑤思春期教室	⑤14回	⑤1033人(保護者・教員含)
⑥定例栄養相談	⑥12回	⑥女10人／男6人
⑦定例歯科相談	⑦12回	⑦女1人／男2人
⑧電話	⑧随時	⑧784件(延べ数)
⑨面接	⑨随時	⑨1270件(延べ数)
⑩訪問	⑩随時	⑩311件(延べ数)
⑪オンライン相談(個別相談時)	⑪随時	⑪1件

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
484	398	557

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）
感染症の流行が収束しつつある影響か、電話相談が減少し、面接での相談件数が大幅に増加した。母子保健の各種教室の参加者も定員を増やして対応している。また、電話や訪問などで連絡の取りにくい要支援者に対し、SNSを活用することで比較的若い層へのアプローチが可能となっている。
（課題・問題点）
核家族化や生活スタイルの変化により地域や社会におけるつながりが希薄化し、妊産婦から成人・高齢者含めあらゆる世代の人々が孤独・孤立状態に陥りやすく、不安が高い傾向にある。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

・事業の効果的な実施を目指し、各種教室や事業の内容を見直して、あらゆる世代の人々の健康の維持増進を図る。
・SNSやウェブサイトを活用して事業の周知を図ると共に、オンライン等を活用した相談業務を充実させ、人々の不安軽減を図る。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）男性の参加が少ないが、活動自体行えてはいる。

（課題・問題点）相談やオンラインに関する周知の徹底、「ままのわ」とかではなく「親子、キッズ」など男性目線も考える。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成するはじめり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	45	基本目標	Ⅳ　誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	市民参加の健康づくりの推進	主要課題	Ⅳ-2　健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	（1）生涯を通じた健康支援
担当者職氏名	栄養士　御園　未来	内線番号	25-1725

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

3年任期の2年目であるため、茂原市の健康課題を理解から実践に移せる主体的な研修会を開催する。推進員が、更なる知識と技術の習得を自主的に行えるよう事務局はサポートしていく。
研修会7回、普及活動11回　自主研修会（不定期）を開催予定。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

市民が自主的に健康管理に努め、市民参加型の健康づくりを推進するため、地区組織である健康生活推進員の育成に努めます。健康生活推進員により、児童から高齢者までさまざまなライフステージを対象とした健康づくり料理教室、食育教室、運動教室、ウォーキング教室等を開催し、正しい健康知識の普及活動を積極的に行います。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

・健康教室等の開催回数　年110回以上
・健康教室等の参加者数　年1,100人以上

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①糖尿病や脂質異常症についての知識を習得し、健康づくり料理教室を自主的に開催する。
②身体特性を踏まえた運動の展開を行い、適正体重維持の大切さを普及する。
※①②中央研修会7回/年、普及活動9回/年実施予定

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①茂原市に多い疾病（糖尿病や高血圧、脂質異常症）の病態と予防法を理解するため調理研修会や運動習慣定着のための運動研修会を実施	①7回	①従事推進員数235人（男39人、女196人）
②普及活動として、健康づくり料理教室、食育教室、塩分測定会、ノルディックウォーク教室、室内運動教室等を開催（打ち合わせや準備を含む）	②14回	②参加者297人（男50人、女247人） 従事推進員数122人（男17人、女105人）
③市広報誌掲載の「今夜のおかず」レシピを市内スーパーへ配布	③12回	③従事推進員数27人（男5人、女22人）

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）
・健康教室等の開催回数　14回 ・健康教室等の参加者数　297人	・26回 ・391人	・27回 ・448人	・13回 ・399人	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
440	440	440

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業や見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）
糖尿病予防及び脂質異常症予防のための料理教室や、市の健康課題である高血圧と糖尿病予防のためのウォーキング教室を開催し、普及に努めた。また、災害に備え、自助意識を高めるため災害時に役立つ料理教室を開催し、幅広い視点で普及に取り組むことができた。
（課題・問題点）
教室の参加者は高齢者が多いため、若い世代や働き世代の参加者を増やすことが課題である。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

3年任期の3年目となるため、今まで得た知識と技術を生かして、地域に即した健康づくりのための普及活動が自主的、意欲的に実施できるよう研修会を開催し、サポートしていく。
研修会6回、普及活動10回、自主研修会（不定期）を開催予定。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）実施内容が充実し参加者数も1回に対し、多いと思われる。

（課題・問題点）現実的な目標設定をするとともに、例年（R3、4）を超えるよう目指す。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	46	基本目標	Ⅳ　誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	スポーツを通じての健康増進	主要課題	Ⅳ-2　健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	体育課	施策の方向	（1）生涯を通じた健康支援
担当者職氏名	小髙　恵子	内線番号	23-2811

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

レッツ・エンジョイスポーツや他のスポーツイベント等で体験会を開催し、引き続きスポーツをするきっかけづくりに力を入れていく。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

生涯スポーツの観点に立ち、市民誰もが参加できるスポーツ・レクリエーションの普及に努めます。また、市民がスポーツによる楽しさや爽快感と市民相互の連帯感の醸成などの精神的充足感を得ることができるよう、事業の充実に努めます。開催にあたっては、土日や夜間に開催するなど、男女が共に参加しやすい機会の確保に努めます。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

・スポーツ・レクリエーション教室等の開催回数　　年１４０回以上
・スポーツ・レクリエーション教室等の参加者数　　年８，０００人

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①茂原市スポーツ推進計画の基本理念「市民ひとり1スポーツ」に基づいた事業を開催し、年齢や性別を問わず誰もが気軽にスポーツを行える機会に構築する。
②地域に根付いたスポーツの定着化をすすめ、生涯を通じて健康づくりや体力づくりの増進を目指す事業を実施する。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無）

内容	回数	参加者数（男女別）
各種スポーツイベント、体験会等の開催・実施 ①もばらタッチバレーボール千葉県大会(R6.10.14) ②茂原市スポレク祭(R7.3.1) ③大相撲鏑山部屋ふれあい相撲（R6.8.23） ④レッツエンジョイスポーツ（R6.6.22、8.5、8.31、9.29、11.23、12.21、R7.2.16、2.21） ⑤レッツエンジョイウォーキング（R6.9.23、11.17、R7.2.23） ⑥パラスポーツ教室 ⑦キッズ運動能力向上教室	①1回 ②1回 ③1回 ④9回 ⑤3回 ⑥10回 ⑦6回	①379人(男172,女207) ②119人(男51,女68) ③470人(男女別不明) ④522人(男女別不明) ⑤59人(男女別不明) ⑥400人(男女別不明) ⑦120人(男女別不明)

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）
・スポーツ・レクリエーション教室等の開催回数　31回 ・スポーツ・レクリエーション教室等の参加者数　2，069人	・6回 ・350人	・32回 ・1,291人	・36回 ・1,873人	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
6,614	5,807	6,777

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）コロナ禍以降縮小していた体験会やイベント等も従前どおりの規模に戻して開催でき、参加者も増加傾向にある。参加者アンケートにおいても高い満足度であるという回答を得ることができた。
（課題・問題点）地域に根付いたスポーツが定着しつつあるが、誰もが、様々なレベルに合わせて気軽にスポーツに参加できる場の提供を行っていく必要がある。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

より多くの市民が参加することができるように、スポーツイベント等の開催日程や周知方法に工夫をこらし、スポーツをするきっかけづくりに力を入れていく。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）市民ニーズに合ったイベントの開催ができている。だが、数値未達成。

（課題・問題点）数値目標を現実的なものにする。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	47	基本目標	Ⅳ　誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	安心して妊娠・出産するための支援	主要課題	Ⅳ-2　健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	子育て支援課	施策の方向	（2）安心して妊娠・出産できる環境づくり
担当者職氏名	主査　今井明子	内線番号	7874

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

母子保健と児童福祉が一体的に支援できるようにこども家庭センターを設置し、より子育てに困難を抱える家庭に対し、切れ目なく、漏れなく支援できるように努める。特に母子保健については、伴走型相談支援を充実させ、身近に相談機関として機能できるようにするとともに、子どもを望む夫婦に対しては正確な情報提供に努め、安心して妊娠・出産・育児ができるように支援していく。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

産前産後サポートセンター（母子健康包括支援センター）を中心に、安心して妊娠・出産・育児ができるように切れ目のない支援を行います。また、妊婦健康診査の自己負担金の一部助成のほか、子どもを望む家庭に対し不妊治療費の一部助成を行い、経済的な負担軽減を図ります。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

・健やか親子21アンケート調査（乳児相談時）で「今後もこの地域で子育てをしていきたい」と回答した市民の割合
　91.5%以上

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①妊娠届出時に助産師または保健師が面接し、安心して妊娠・出産・子育てができるように切れ目のない伴走型相談支援を行う。

DO（実施）

R6年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①妊娠届出時の助産師または保健師による全数面接：368件 妊娠後期面談：48件　妊娠後期電話相談：160件		

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）
・健やか親子21アンケート調査（乳児相談時）で「今後もこの地域で子育てをしていきたい」と回答した市民の割合　88.9% ・特定不妊治療費助成決定件数　0件【R5年度で事業終了】	91.4% 61件	91.0% 25件	92.1% 1件	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
668	581	668

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

(評価の根拠)①妊娠後期のアンケートをはじめ助産師相談による電話相談や面談を充実させたことで、さらにきめ細やかな相談支援ができるようになった。また、支援の必要な妊産婦については、関係機関と連携して支援し、安心して子育てができるような体制を整えた。
(課題・問題点)①伴走型相談支援として、新たに出産・子育て応援プランを作成し、妊娠後期のアンケートや助産師等の面談を行うことで、より安心して出産・子育てが出来るよう体制を整えることができた。ケアプランの手交が少ないため、更に関係づくりすることで手交に努めたい。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

引き続き、こども家庭センターとして母子保健と児童福祉の両機能が一体的に支援できるように努める。母子保健については、更に伴走型相談支援を充実させ、身近な相談機関として機能できるようにするとともに、妊娠期から子育て期まで正確な情報発信に努める。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）面談、面接等は行えているが例年をはるかに下回る数値結果

（課題・問題点）下回った理由を調査し、改善に努める。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第4次）に係る事業評価シート

事業No.	48	基本目標	Ⅳ　誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	妊娠期の健康管理・育児に関する学習機会の提供	主要課題	Ⅳ-2　健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	子育て支援課	施策の方向	(2)安心して妊娠・出産できる環境づくり
担当者職氏名	保健師　石井梨奈	内線番号	7873

ACT（改善）

R5年度末における次年度における取り組み（予定）　※R5年度報告書より再掲

・3回1コースで4コース（平日2コース、土曜日2コース）実施する。1回目（出産準備編）：妊娠・陣痛・お産中の時の過ごし方、パパが行う陣痛時のマッサージ体験、歯・栄養のお話（歯科衛生士・栄養士）　他、2回目（沐浴・妊婦体験編）：赤ちゃんのお風呂入れ体験、妊婦体験、パパ“カ”アップミニ講座　他、3回目（授乳・ミルク作り体験編）：母乳育児の話、調乳（ミルク作り）体験、先輩ママ・パパと話してみよう、講義「笑っている父親になろう」　他
・定員をすべて16組とし、より多くの希望者に子どもの健やかな成長を育むための環境づくりを夫婦で妊娠期から整えることができる支援していく。

PLAN（計画）

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

妊娠期から夫婦で積極的に健康管理・育児の知識の普及と技術を習得する機会を提供することで、出産後育児が不安なく行われ、愛情を持って子どもを養育できるよう「ママ・パパ教室」を実施します。開催にあたっては、父親も参加しやすいよう土曜日にも実施します。

第4次計画（R3年度～R7年度）に定められた数値目標

・ママ・パパ教室の初妊婦参加率　50%
・ママ・パパ教室のパートナー参加率　70%

R6年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　※**箇条書きで具体的に記入**

・3回1コースとして、1年に4コース（平日2コース、土曜日2コース）実施する。定員は16組。内容は以下のとおり。
・1回目出産準備編：妊娠・陣痛・お産中の時の過ごし方・パパが行う陣痛時のマッサージ体験(助産師講話)、ママと赤ちゃんの歯のお手入れ(歯科衛生士講話)・ママと赤ちゃんの栄養について（管理栄養士講話）、赤ちゃんの健康と成長について・防災講座(保健師講話)
・2回目沐浴・妊婦体験編：赤ちゃんのお風呂入れ体験・妊婦体験、沐浴について・産後のメンタルヘルスについて(保健師講話)
・3回目授乳・ミルク作り体験編：母乳育児について(助産師講話)、ミルク作り体験、先輩ママ・パパと話してみよう(グループワーク)、講義「笑っている父親になろう」(NPO法人ファザーリング・ジャパン講師)
・子どもの健やかな成長を育むための環境づくりを夫婦で妊娠期から整えることができるよう支援していく。

DO（実施）

R6年度の実施結果　※**箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
・内容・実施回数は計画どおり実施した。 ・1回目出産準備編：4月24日(水)、7月13日(土)、10月23日(水)、1月25日(土) ・2回目沐浴・妊婦体験編：5月21日(火)、8月31日(土)、11月20日(水)、2月15日(土) ・3回目授乳・ミルク作り体験編：6月21日(金)、9月28日(土)、12月20日(金)、3月15日(土)	1回目：4回 2回目：4回 3回目：4回	1回目：男48人、女56人 2回目：男51人、女56人 3回目：男55人、女60人 ※4コースの合計数

R6年度の数値成果	R3（参考）	R4（参考）	R5（参考）	R7（参考）
・ママ・パパ教室の初妊婦参加率　97.6% ・ママ・パパ教室のパートナー参加率　91.1%	・24.2% ・83.3%	・54.3% ・83.8%	・89.2% ・86.6%	

R6予算額（千円）	R6決算見込額	R7予算額
67千円	54,992円	55,070円

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）
数値目標を大きく超えている。年々、夫婦での参加率は増加している。
（課題・問題点）
夫婦での参加率が増えていることから、夫婦で育児に取り組む姿勢が伺える。事後アンケートでは夫婦ともに具体的な育児の方法についてもっと聞きたい(おむつ交換や寝かしつけ)という意見があった。夫婦ともに育児休暇を取得する家庭も増えており、育児休暇中に実践できるような具体的な育児の方法を講義に追加していきたい。令和7年度より育児休暇制度や育児休業給付金の制度の変更点があるので、講義に入れたい。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

実施回数や定員はそのまま継続し実施する。内容については、事後アンケート結果によりよい事業になるよう努める。ママ・パパ教室に参加することで、妊娠・出産・育児不安が軽減し、夫婦で産後の生活を見据えて環境を整えることができるよう支援していく。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）数値目標を大きく上回り、計画通り行えている。

（課題・問題点）１次評価になる参加者の意見に寄り添えるようにする。

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言